

令和5年

救 急 統 計

姫路市消防局

救 急 概 要	1
第 1 救急出場の状況	
1 救急出場件数	3
2 救急出場件数の推移	4
3 過去10年間の救急出場件数の推移	4
4 事故種別出場件数構成比の推移	5
5 月別出場件数	6
6 曜日別出場件数	6
7 時間別出場件数	6
8 小学校区別出場状況	7
9 隊別活動状況	8
10 当市が行った応援出場状況	10
11 当市が受けた応援の状況	10
12 要保護者の搬送状況	10
13 隊別救急出場の推移	11
14 中核市消防本部の救急概況	12
第 2 傷病者の状況	
1 事故別・傷病程度別搬送人員	13
2 年齢別・事故別搬送人員	14
3 年齢別・傷病程度別搬送人員	14
4 年齢別・事故別人口比	14
5 医療機関の選定状況	15
6 診療時間別搬送人員	15
7 管轄外への救急搬送	16
8 過去5年間の傷病程度構成比の推移	16
9 過去5年間の急病件数の推移	17
10 科目別傷病程度と傷病名（急病）	17
11 受傷部位・傷病程度と傷病名（外傷）	17
12 発生場所別傷病程度（交通事故）	18
13 発生場所別傷病程度（一般負傷）	18
14 過去5年間の転院搬送人員の推移	18

15	転院の理由	1 8
16	転院医療機関	1 9
17	管轄外・県外の転院医療機関	1 9
18	隊員の行った応急処置の状況	1 9
19	応急処置実施状況	2 0
20	救急資器材使用状況	2 0
21	搬送体位別搬送人員	2 0
22	救命率	2 1
23	不搬送状況	2 1
24	不搬送理由	2 1
25	過去5年間の傷病者の推移	2 2
26	市民処置状況	2 3
27	救急救命士の特定行為等実施状況の推移	2 3

付 表

救急関連業務

1	救急体制	2 4
2	医療体制	2 6
3	応急救護知識の普及	3 1
4	各研修実施状況	3 2
5	事後検証委員会実施状況	3 3
6	家島町における救急発生状況	3 3
7	指輪切断（リングカッター）使用状況	3 3
8	PA出動件数	3 4
9	サクスカード交付件数	3 4
10	月別搬送困難件数	3 4
	救急業務沿革	3 5

- | |
|---|
| <p>1 統計中の符号の用法は、次のとおりです。
 「－」該当事案なし
 「0」単位未満
 「▲」負数</p> <p>2 構成比等、端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがあります。</p> |
|---|

救 急 概 要

令和5年中における姫路市消防局の救急出場件数は、34,342件で前年比1,957件の増加となっています。搬送人員は、27,250人で、前年比1,880人増加しており、1日平均94.1件、約15分に1件の割合で救急車が出場し、管轄内住民の約21人に1人を搬送したことになります。

1日の最多出場は、1月2日（月）に142件を記録しています。

搬送人員を事故種別でみると、急病が最も多く、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

また、年齢別搬送人員では高齢者（65歳以上）が16,870人で、全体の61.9%を占めています。

1 出場件数

(1) 事故別出場件数

出場件数のうち最も多いのが急病で22,398件（65.2%）、次いで一般負傷5,314件（15.5%）、転院搬送3,083件（9.0%）、交通事故2,255件（6.6%）の順となっています。

(2) 月別、曜日別、時間別状況

ア 月別出場件数は、8月が3,371件で最も多く、次いで1月（3,208件）、7月（3,194件）の順となっています。

イ 曜日別出場件数（1日平均）は、月曜日（98.7件）、日曜日（94.4件）の出場が多くなっています。

ウ 時間別出場件数（1時間平均）は、10時台（6.30件）、9時台（6.23件）の出場が多くなっています。

(3) 1件あたりの平均所要時間及び平均走行距離

平均所要時間は、指令から現場到着まで7分47秒、現場到着から病院到着まで34分16秒、指令から帰署まで67分03秒となっています。

救急車の平均走行距離は出場から現場まで3.8km、現場から病院まで8.1km、出場から帰署まで20.0kmとなっています。

2 傷病者の状況

傷病者を程度別にみると、中等症 14,561 人(53.4%)、軽症 11,242 人(41.3%)、重症・重篤・死亡 1,447 人(5.3%) の順となっております。

3 医療機関の選定

医療機関の選定は、救急隊長の選定が最も多く 21,362 人(78.4%)、次いで医師 3,589 人(13.2%)、関係者等 2,243 人(8.2%) の順となっています。

4 特定行為

救急救命士による特定行為は、心肺停止患者に対する器具による気道確保が 383 件（うち気管挿管 11 件）、静脈路確保が 395 件、アドレナリン投与 156 件を実施しています。また、除細動は 44 件、血糖測定は 423 件、ブドウ糖投与は 69 件、心肺停止前輸液は 116 件でした。

5 予後状況

救急隊が心肺蘇生法を実施した 520 人中、30 日以上生存者は 42 人で、そのうち 22 人が社会復帰されています。

第1 救急出場の状況

1 救急出場件数

出場件数は34,342件で、前年に比べて1,957件増加しています。

(令和5年中)

区 分	姫路市消防局				全国構成比	姫路市		
	出場件数	前年件数	前年比	構成比		出場件数	前年件数	前年比
火 災	255	198	57	0.7	0.3	237	186	51
自然災害	0	4	▲ 4	0.0	0.0	0	4	▲ 4
水 難	20	20	0	0.1	0.1	19	18	1
交通事故	2,255	2,172	83	6.6	5.3	2,129	2,052	77
労働災害	304	342	▲ 38	0.9	0.8	279	311	▲ 32
運動競技	158	135	23	0.5	0.5	153	116	37
一般負傷	5,314	4,998	316	15.5	15.2	4,947	4,644	303
加 害	142	123	19	0.4	0.4	141	121	20
自損行為	307	249	58	0.9	0.8	283	237	46
急 病	22,398	21,162	1,236	65.2	67.6	20,914	19,717	1,197
転院搬送	3,083	2,891	192	9.0	7.4	2,889	2,714	175
その他	106	91	15	0.3	1.6	98	84	14
合 計	34,342	32,385	1,957	100.0	100.0	32,089	30,204	1,885

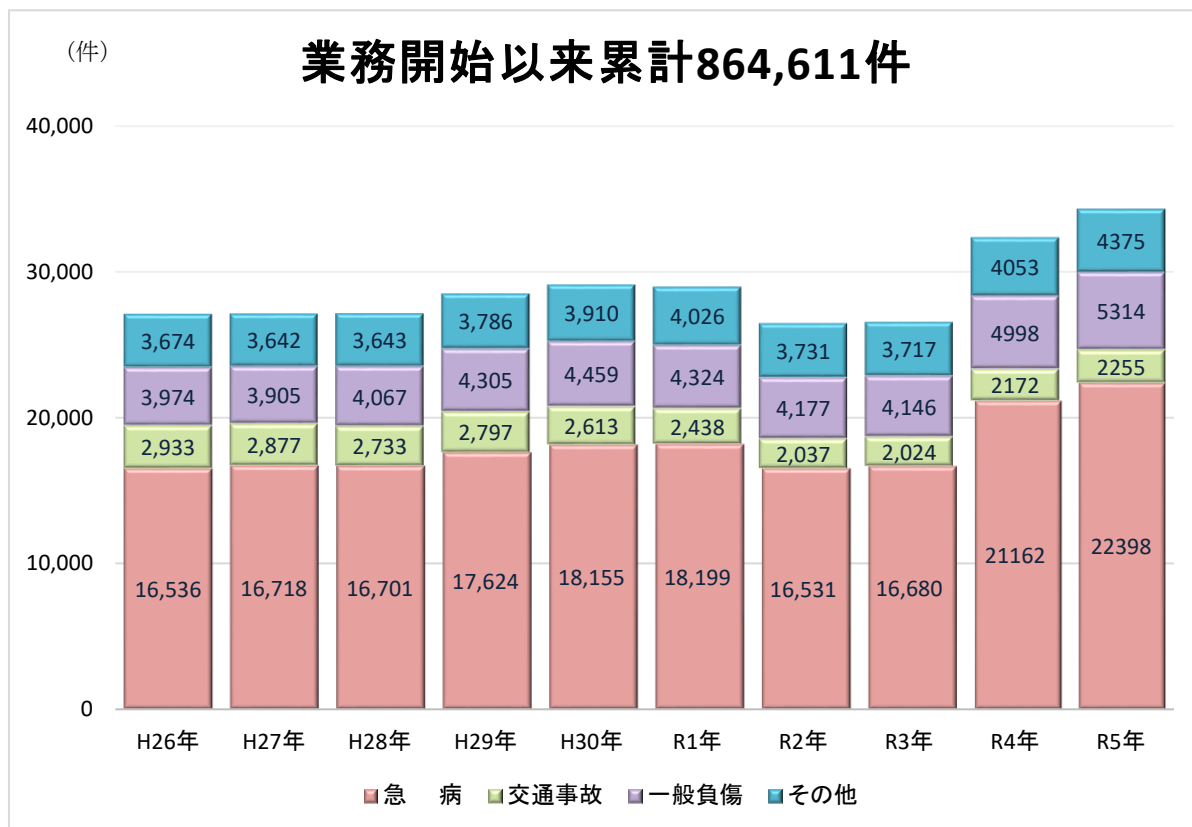
※ 全国構成比は、令和5年版消防白書（令和4年中統計）によります。

区 分 (受託町等)	市川町			福崎町			神河町			管轄外		
	出場件数	昨年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比
火 災	3	2	1	7	3	4	5	5	0	3	2	1
自然災害	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—
水 難	—	1	-1	—	—	—	1	1	—	—	—	—
交通事故	25	30	▲ 5	65	62	3	28	23	5	8	5	3
労働災害	3	10	▲ 7	16	16	0	5	5	0	1	—	1
運動競技	1	3	▲ 2	4	11	▲ 7	—	5	▲ 5	—	—	—
一般負傷	100	104	▲ 4	164	142	22	101	107	▲ 6	2	1	1
加 害	—	1	▲ 1	1	1	0	—	—	0	—	—	—
自損行為	7	4	3	11	6	5	6	2	4	—	—	—
急 病	430	399	31	636	635	1	416	408	8	2	3	▲ 1
転院搬送	15	6	9	104	110	▲ 6	75	61	14	—	—	—
その他	1	1	0	4	5	▲ 1	3	1	2	—	—	—
合 計	585	561	24	1012	991	21	640	618	22	16	11	5

2 救急出場件数の推移

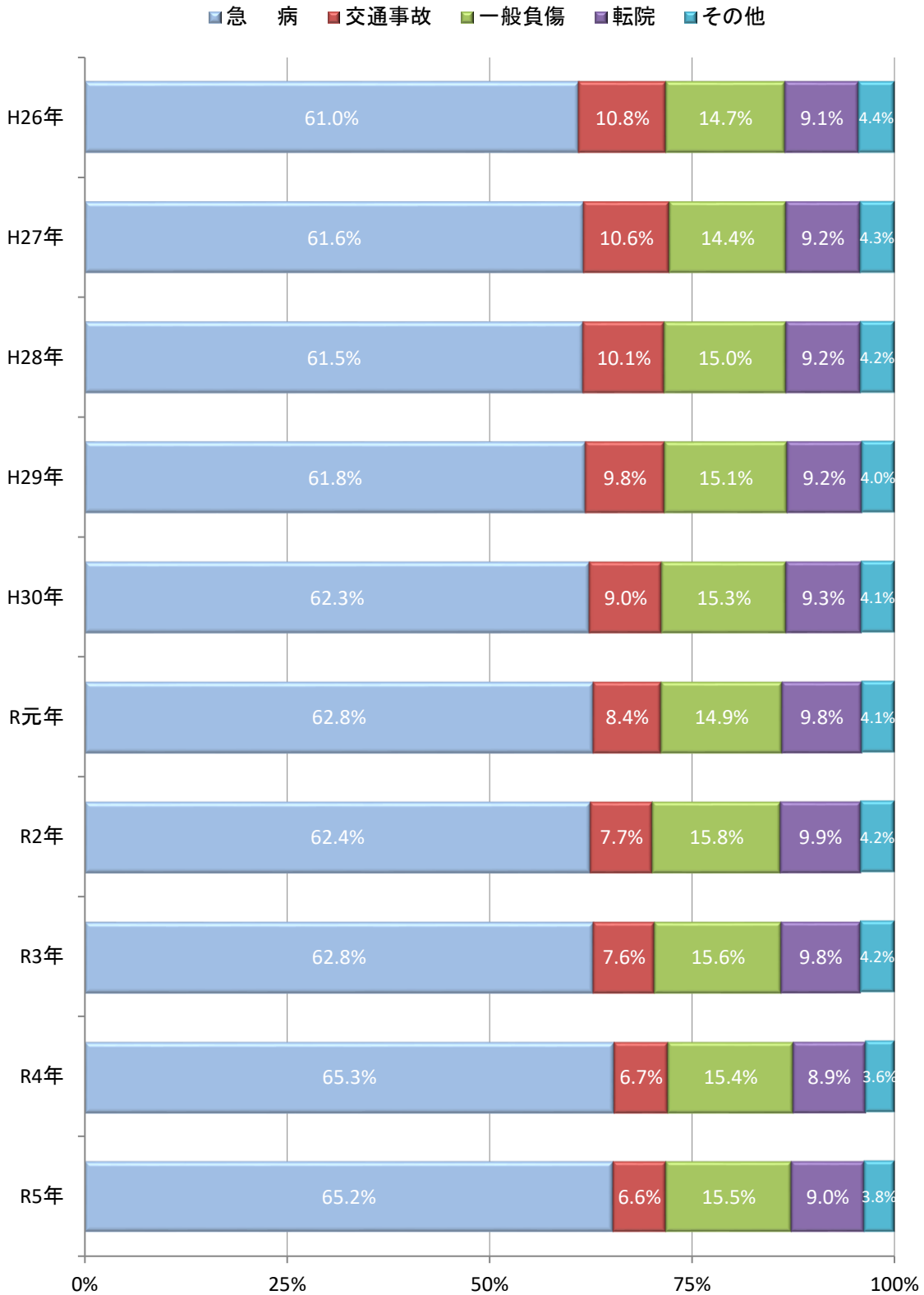
年次	件数	年次	件数	年次	件数	年次	件数
昭和33年	81	昭和50年	6,415	平成4年	10,010	平成21年	22,827
34年	91	51年	6,407	5年	10,492	22年	24,291
35年	257	52年	6,317	6年	10,761	23年	26,046
36年	494	53年	6,638	7年	12,063	24年	26,892
37年	698	54年	6,765	8年	12,321	25年	27,177
38年	1,114	55年	7,280	9年	12,813	26年	27,117
39年	1,817	56年	7,404	10年	13,331	27年	27,142
40年	2,214	57年	7,869	11年	14,144	28年	27,144
41年	2,837	58年	8,312	12年	15,428	29年	28,512
42年	3,062	59年	8,492	13年	16,195	30年	29,137
43年	3,181	60年	8,659	14年	16,955	令和元年	28,987
44年	3,972	61年	8,445	15年	17,739	2年	26,476
45年	4,918	62年	8,495	16年	18,802	3年	26,567
46年	5,499	63年	9,049	17年	19,671	4年	32,385
47年	6,172	平成元年	9,660	18年	19,340	5年	34,342
48年	6,412	平成2年	9,779	19年	22,679		
49年	6,021	3年	10,006	20年	21,993		
法制化				事務受託開始			

3 過去10年間の救急出場件数の推移



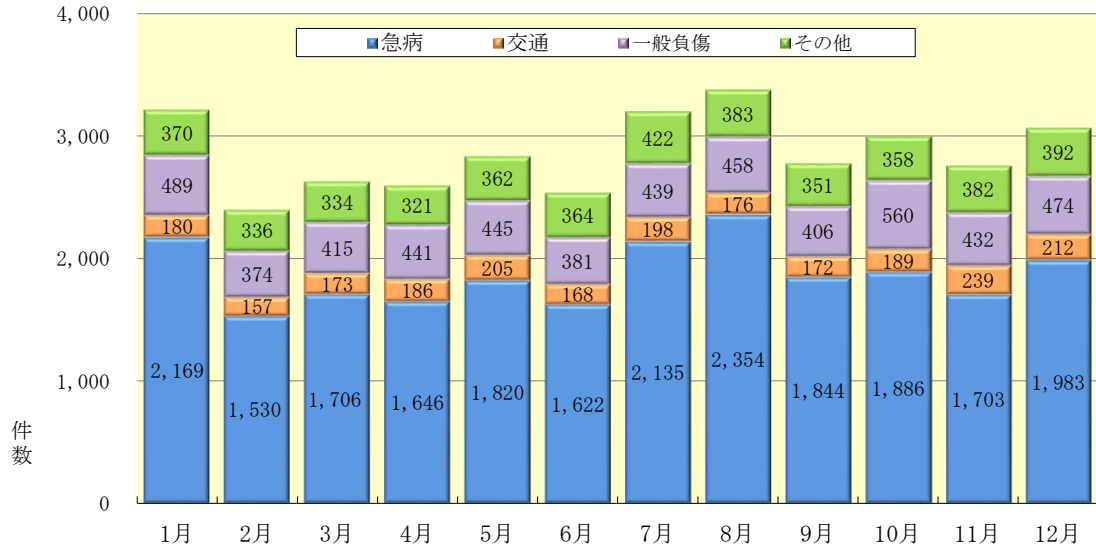
4 事故種別出場件数構成比の推移

急病が高い割合で推移しています。
急病・交通事故・一般負傷・転院搬送の割合が全体の約96%となっています。



5 月別出場件数

8月が3,371件で最も多く、次いで1月(3,208件)、7月(3,194件)の順となっています。



6 曜日別出場件数

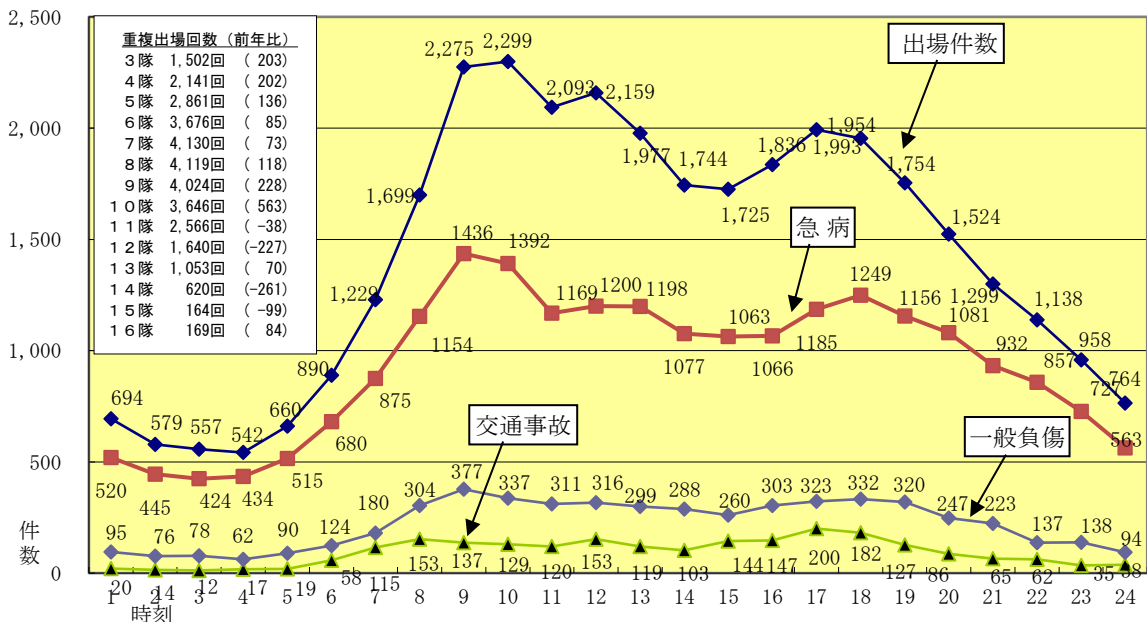
1日平均は、月曜日(98.7件)、日曜日(94.4件)の出場が多くなっています。

曜日	合計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
件数	34,342 (32,089)	5,001 (4,651)	5,134 (4,785)	4,876 (4,555)	4,771 (4,494)	4,834 (4,543)	4,839 (4,501)	4,887 (4,560)
1日平均	94.1 (87.9)	94.4 (87.8)	98.7 (92.0)	93.8 (87.6)	91.8 (86.4)	93.0 (87.4)	93.1 (86.6)	94.0 (87.7)
比率(%)	100.0	14.6	14.9	14.2	13.9	14.1	14.1	14.2
日数	365	53	52	52	52	52	52	52

(参考) 1日の最高件数は、1月2日(月)に142件を記録しています。
過去最多出場は、令和4年12月26日(月)の146件でした。
()内は姫路市の数値です。

7 時間別出場件数

時間別出場件数は、10時台(6.30件)、9時台(6.23件)の出場が多くなっています。



8 小学校区別出場状況

校区別出場件数は、前年に比べ白鷺・花田・御国野校区等が増加し、飾磨・高浜・船場校区等が減少しています。

校区		令和5年	令和4年	増減数
合計		34,342	32,385	1,957
姫路東消防署	小計	9,363	8,621	742
	白鷺	1,776	1,572	204
	野里	554	487	67
	城東	644	570	74
	東	565	542	23
	花田	642	535	107
	城北	353	377	▲24
	広峰	549	532	17
	水上	425	408	17
	砥堀	510	534	▲24
	城乾	232	238	▲6
	増位	492	446	46
	四郷	467	441	26
	御国野	516	415	101
	別所	433	393	40
	谷外	327	310	17
	谷内	119	109	10
	豊富	393	397	▲4
	姫路西消防署	小計	9,055	8,504
城陽		1,083	1,018	65
手柄		869	818	51
船場		608	656	▲48
荒川		862	847	15
高岡		922	958	▲36
安室		497	466	31
城西		488	400	88
安室東		511	469	42
高岡西		636	585	51
曾左		629	580	49
白鳥		531	480	51
太市		97	98	▲1
林田		215	195	20
伊勢		65	59	6
峰相		243	200	43
青山		513	448	65
安富南		258	207	51
安富北		28	20	8
飾磨消防署	小計	8,196	7,925	271
	飾磨	1,248	1,374	▲126
	津田	677	661	16
	英賀保	936	892	44
	高浜	691	739	▲48
	妻鹿	231	236	▲5
	広畑	499	424	75
	広畑第二	529	490	39
	八幡	830	812	18

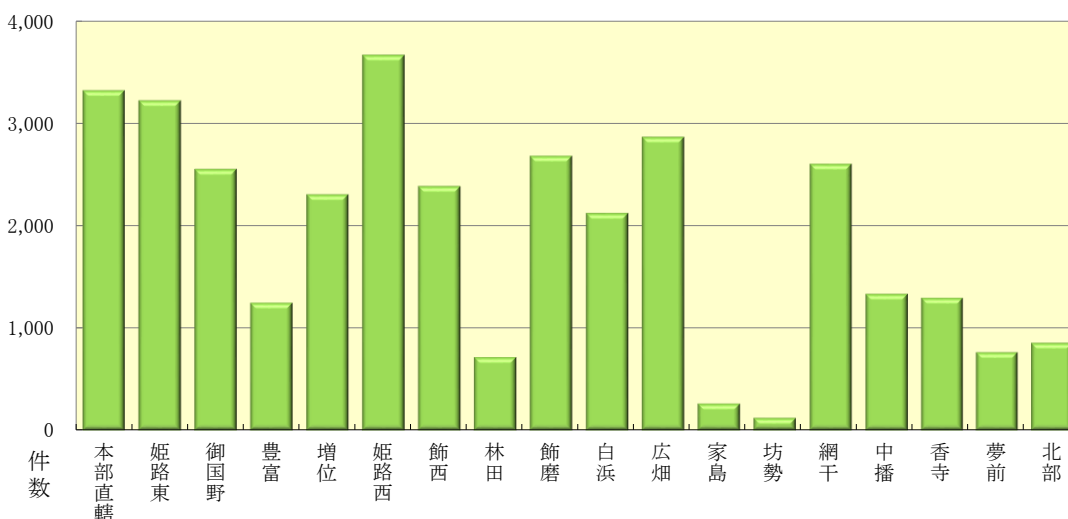
校区		令和5年	令和4年	増減数
飾磨消防署	白浜	875	798	77
	八木	120	95	25
	糸引	474	453	21
	的形	299	243	56
	大塩	401	309	92
	家島	264	294	▲30
	坊勢	122	105	17
網干消防署	小計	3,602	3,385	217
	大津	658	585	73
	大津茂	206	178	28
	南大津	323	337	▲14
	網干	563	556	7
	旭陽	550	503	47
	勝原	719	672	47
	余部	225	230	▲5
	網干西	358	324	34
	小計	4,110	3,939	171
中播消防署	置塩	214	205	9
	古知	99	98	1
	前之庄	306	297	9
	筋野	73	49	24
	上菅	88	105	▲17
	菅生	163	168	▲5
	香呂	458	445	13
	香呂南	123	109	14
	中寺	349	293	56
	福崎	399	407	▲8
	高岡	63	73	▲10
	田原	415	394	21
	八千種	135	117	18
	川辺	173	157	16
甘地	149	142	7	
瀬加	106	94	12	
鶴居	157	168	▲11	
神崎	417	388	29	
寺前	182	196	▲14	
長谷	41	34	7	
管外※	16	11	5	

※管外とは、近隣市町への出場です。

9 隊別活動状況

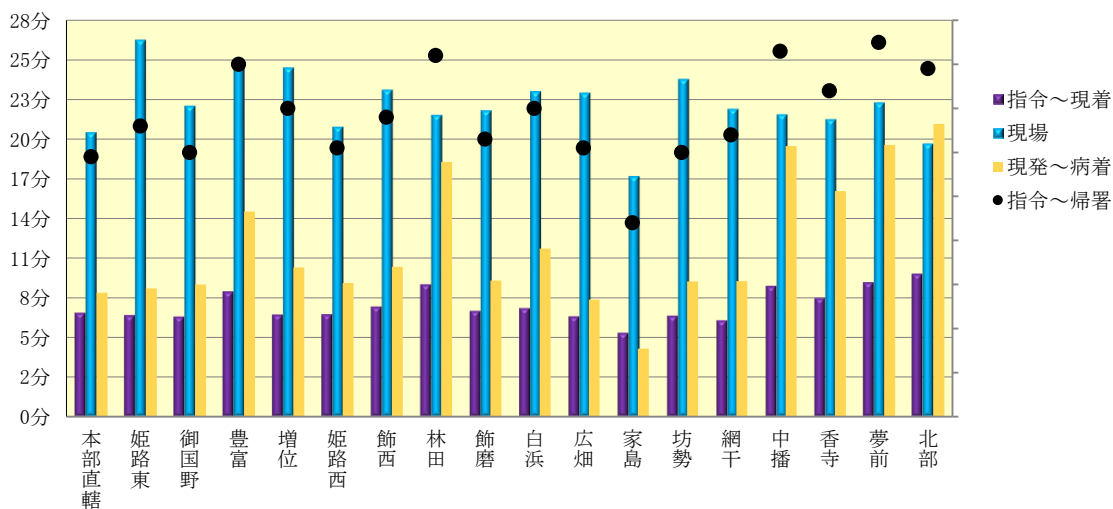
区 分		署・隊別			消防局	姫路東消防署			
		今年	前年数	前年比	本部直轄	姫路東	御国野	豊富	増位
出場状況	出場件数 (件)	34,342	32,385	1,957	3,319	3,221	2,552	1,251	2,306
	比率 (%)	100.0	—	—	9.7	9.4	7.4	3.6	6.7
	前年出場件数 (件)	32,385	—	—	3,106	3,070	2,208	1,257	2,251
	前年比 (件)	1,957	—	—	213	151	344	▲6	55
搬送人員 (人)	27,250	25,370	1,880	2,567	2,354	1,868	978	1,854	
不搬送件数 (件)	7,197	7,123	74	764	874	690	274	459	
1日平均 (件)	94.1	88.7	5.4	9.1	8.8	7.0	3.4	6.3	
1日最高 (件)	142	145	▲3	17	16	14	9	13	
急病の割合 (%)	65.2	65.4	▲0.1	64.9	65.9	68.3	66.8	66.3	
交通事故の割合 (%)	6.6	6.7	▲0.1	7.6	7.4	7.5	5.4	6.6	
一般負傷の割合 (%)	15.5	15.4	0.0	15.9	16.4	14.0	14.3	17.5	
転院搬送の割合 (%)	9.0	8.9	0.1	6.9	6.8	7.2	10.2	7.0	
常置場所以外からの出場件数 (件)	3,512	3,206	306	254	381	266	233	293	
連続出場 (件)	2,969	2,668	301	247	347	218	101	275	
ドクターカー連携 (件)	483	391	92	85	52	49	28	48	
ドクターヘリ連携 (件)	75	87	▲12	-	1	1	-	-	
1件当たりの所要時間	受付～指令	1'44"	1'44"	0'00"	1'43"	1'41"	1'38"	1'45"	1'40"
	指令～現場	7'47"	8'01"	▲0'14"	7'31"	7'21"	7'14"	9'05"	7'24"
	現場	22'54"	24'56"	▲2'02"	20'36"	27'20"	22'32"	25'31"	25'19"
	現場～病院	11'22"	12'20"	▲0'58"	9'01"	9'19"	9'36"	14'54"	10'50"
	病院	14'53"	16'15"	▲1'22"	15'43"	15'40"	15'39"	16'55"	16'13"
	現着～病着	34'16"	37'15"	▲2'59"	29'38"	36'39"	32'08"	40'26"	36'09"
	指令～帰署	67'03"	71'46"	▲4'43"	59'51"	66'20"	60'32"	80'54"	70'03"
1件当たりの走行距離 (km)	出場～現場	3.8	3.9	▲0.1	3.1	3.2	3.5	4.8	3.3
	現場～病院	8.1	9.0	▲0.9	5.3	6.0	6.6	10.8	6.8
	出場～帰署	20.0	21.9	▲1.9	14.2	14.7	16.1	27.0	16.9
全所要時間 (時間)	38,375	38,740	▲365	3,311	3,561	2,574	1,687	2,692	

・隊別出動件数の比較



姫路西消防署			飾磨消防署					網干署	中播消防署			
姫路西	飾西	林田	飾磨	白浜	広畑	家島	坊勢	網干	中播	香寺	夢前	北部
3,663	2,387	718	2,680	2,123	2,867	264	122	2,605	1,338	1,299	767	860
10.7	7.0	2.1	7.8	6.2	8.4	0.8	0.4	7.6	3.9	3.8	2.2	2.5
3,425	2,195	680	2,592	1,939	2,776	294	105	2,400	1,306	1,240	716	825
238	192	38	88	184	91	▲30	17	205	32	59	51	35
3,107	1,968	622	2,120	1,736	2,231	228	106	2,084	1,086	1,050	639	652
574	422	103	573	397	641	37	18	529	254	249	131	208
10.0	6.5	2.0	7.3	5.8	7.9	0.7	0.3	7.1	3.7	3.6	2.1	2.4
16	13	6	13	21	14	4	4	13	9	9	7	8
53.9	69.1	63.1	64.2	66.2	66.8	61.0	62.3	70.0	65.0	66.1	65.8	69.9
6.2	5.2	7.4	8.1	6.8	7.2	2.7	4.1	5.7	6.2	4.9	5.9	3.6
13.9	15.3	16.2	15.5	15.2	14.9	13.6	19.7	15.6	16.1	16.8	15.9	16.5
23.0	6.4	9.5	7.4	6.6	7.3	20.1	12.3	4.6	8.8	9.1	7.4	8.1
318	231	106	330	251	235	8	7	278	88	99	90	44
303	205	49	320	204	210	5	5	264	64	64	56	32
44	30	10	22	33	24	-	-	16	10	14	12	6
-	3	-	-	4	-	8	5	1	24	4	6	18
1'43"	1'33"	1'25"	2'33"	1'45"	1'51"	1'38"	1'58"	1'39"	1'33"	1'35"	1'31"	1'32"
7'25"	7'58"	9'35"	7'39"	7'51"	7'16"	6'04"	7'18"	6'58"	9'28"	8'35"	9'44"	10'21"
21'00"	23'42"	21'52"	22'12"	23'36"	23'29"	17'25"	24'29"	22'19"	21'54"	21'33"	22'46"	19'48"
9'43"	10'53"	18'30"	9'54"	12'13"	8'30"	4'56"	9'49"	9'51"	19'39"	16'23"	19'45"	21'16"
12'43"	14'08"	11'58"	14'30"	17'31"	15'01"	12'03"	13'29"	14'23"	14'37"	14'18"	13'24"	14'15"
30'43"	34'35"	40'22"	32'06"	35'50"	31'59"	22'21"	34'18"	32'10"	41'33"	37'55"	42'31"	41'04"
61'02"	68'46"	82'43"	63'18"	70'47"	61'56"	44'34"	61'00"	64'01"	83'01"	74'45"	85'52"	79'27"
3.8	4.1	6.8	3.8	3.6	3.2	1.0	1.3	3.2	5.1	4.2	6.0	6.3
6.5	7.4	14.0	6.5	8.0	5.7	1.2	3.9	6.6	18.2	13.6	16.8	21.5
16.5	19.2	35.3	16.5	20.3	14.6	2.9	9.0	17.5	40.7	31.8	40.2	48.1
3,726	2,736	990	2,828	2,505	2,959	196	124	2,779	1,851	1,619	1,098	1,139

・隊別1件当たりの所要時間の比較



10 当市が行った応援出場状況

「消防業務の相互応援に関する協定」に基づき、近隣市町へ出場しています。

市町	事故別	件数	火災	交通事故	一般負傷	急病	その他
高砂市		3	2	1	—	—	—
加古川市		4	1	3	—	—	—
たつの市		3	—	3	—	—	—
太子町		2	—	1	1	—	—
加西市		4	—	1	1	2	—
合計		16	3	9	2	2	—

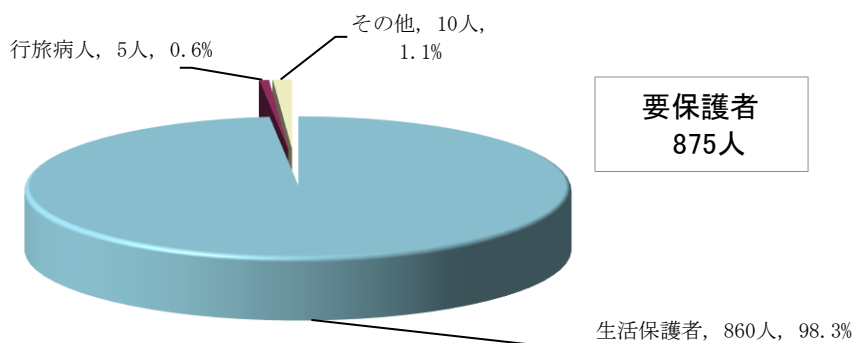
11 当市が受けた応援の状況

当市が受けた応援は7件でした。

消防本部	事故別	件数	急病	交通事故	一般負傷	その他
高砂市		5	3	2	—	—
加古川市		1	1	—	—	—
西はりま		1	—	1	—	—
赤穂市		—	—	—	—	—
合計		7	4	3	—	—

12 要保護者の搬送状況

生活保護者860人、行旅病人5人を搬送しています。



過去5年の要保護者の搬送状況

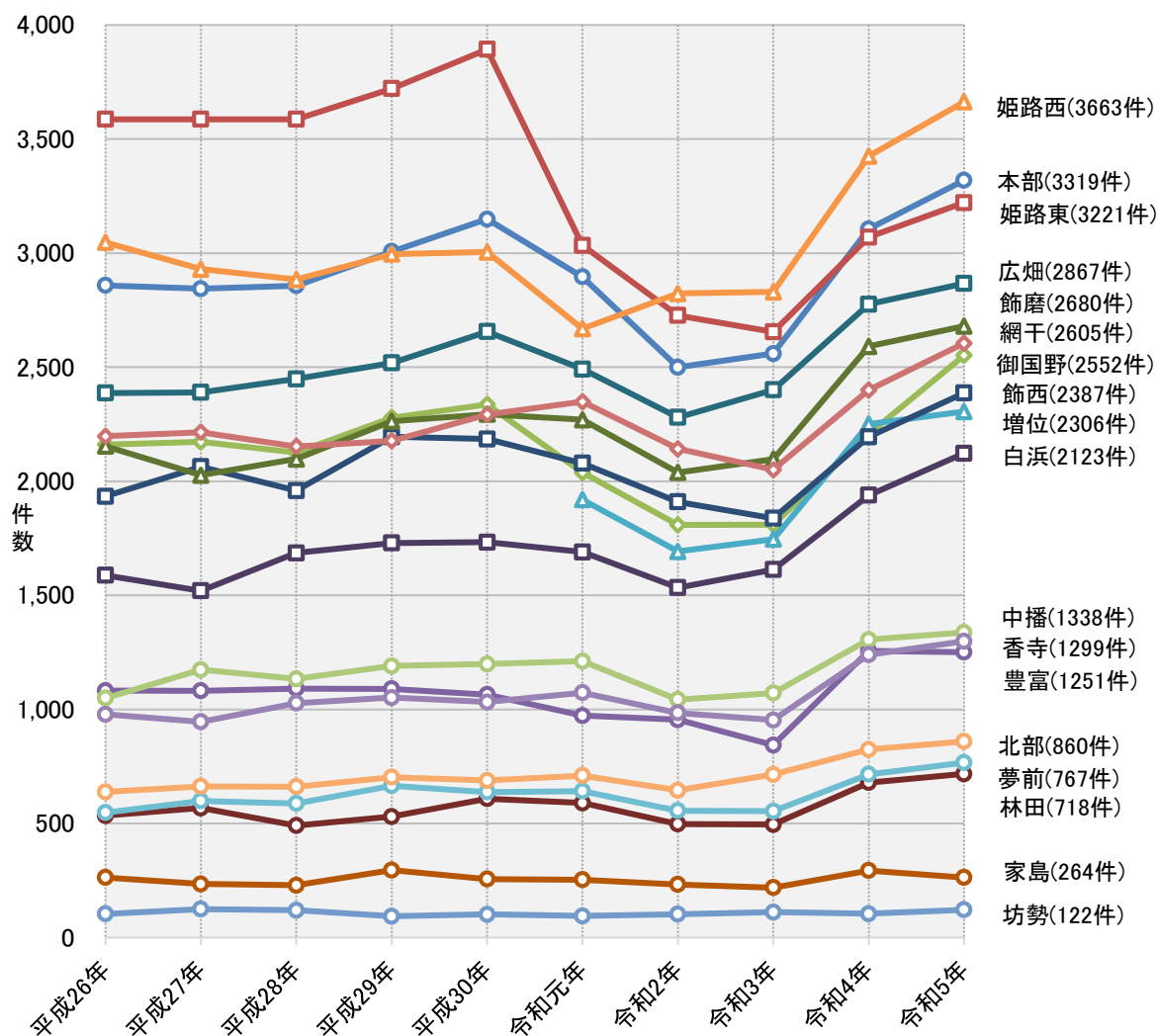
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
生活保護者	748	732	695	787	860
行旅病人	7	8	6	6	5
その他	5	5	7	13	10
合計	760	745	708	806	875

※ その他は、生活困窮者等です。

13 隊別救急出場の推移

姫路西救急隊が最も多く出場し、年間出場件数3,663件で1日平均10件となっております。

年次		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
区分	本部直轄	2,859	2,844	2,857	3,007	3,149	2,896	2,500	2,560	3,106	3,319
姫路東	姫路東	3,587	3,587	3,587	3,721	3,893	3,034	2,727	2,655	3,070	3,221
	御国野	2,161	2,173	2,126	2,279	2,337	2,038	1,809	1,810	2,208	2,552
	豊富	1,083	1,082	1,092	1,090	1,065	973	955	844	1,257	1,251
	増位	0	0	0	0	0	1,920	1,693	1,746	2,251	2,306
姫路西	姫路西	3,047	2,930	2,884	2,996	3,005	2,669	2,823	2,830	3,425	3,663
	飾西	1,934	2,064	1,959	2,195	2,185	2,079	1,910	1,838	2,195	2,387
	林田	535	568	491	531	609	590	498	496	680	718
飾磨	飾磨	2,154	2,027	2,098	2,264	2,294	2,270	2,039	2,097	2,592	2,680
	白浜	1,588	1,520	1,686	1,730	1,733	1,690	1,534	1,613	1,939	2,123
	広畑	2,387	2,390	2,449	2,519	2,656	2,492	2,280	2,401	2,776	2,867
	家島	264	235	230	296	257	254	233	219	294	264
	坊勢	104	125	120	94	102	95	103	112	105	122
網干	2,198	2,215	2,153	2,178	2,293	2,349	2,142	2,051	2,400	2,605	
中播	中播	1,050	1,174	1,134	1,191	1,199	1,212	1,043	1,072	1,306	1,338
	香寺	979	946	1,028	1,052	1,033	1,074	985	954	1,240	1,299
	夢前	548	599	588	666	638	642	556	554	716	767
	北部	639	663	662	703	689	710	646	715	825	860
合計	27,117	27,142	27,144	28,512	29,137	28,987	26,476	26,567	32,385	34,342	



14 中核市消防本部の救急概況（令和5年中）

消防本部名	出場件数	前年比	管轄人口	人口1万人当たりの出場件数	救急隊数	1隊当たりの出場件数
姫路市	34,342	1,957	567,401	605	18	1,908
函館市	19,177	1,474	240,218	798	9	2,131
旭川市	20,555	1,506	330,472	622	14	1,468
青森地域広域	14,126	829	289,279	488	13	1,087
八戸地域広域	15,222	1,302	306,596	496	16	951
盛岡地区広域	20,405	1,223	453,322	450	18	1,134
秋田市	14,773	1,001	299,230	494	9	1,641
山形市	12,747	705	267,692	476	8	1,593
福島市	14,701	343	274,681	535	10	1,470
郡山地方広域	19,242	1,073	379,496	507	18	1,069
いわき市	16,094	657	322,509	499	14	1,150
水戸市	18,228	1,713	285,752	638	10	1,823
宇都宮市	27,151	2,467	513,193	529	14	1,939
川越地区	21,913	1,391	373,949	586	9	2,435
川口市	35,964	2,675	606,315	593	14	2,569
越谷市	19,578	1,262	343,644	570	8	2,447
柏市	26,381	1,398	434,358	607	13	2,029
富山市	23,154	1,457	406,483	570	17	1,362
金沢市	22,902	2,222	463,254	494	11	2,082
福井市	12,053	825	255,936	471	9	1,339
甲府地区	17,354	758	300,294	578	9	1,928
長野市	23,290	1,687	385,830	604	19	1,226
松本広域	21,077	1,181	419,191	503	14	1,506
岐阜市	28,855	1,064	534,440	540	21	1,374
豊橋市	18,345	811	368,686	498	8	2,293
岡崎市	19,081	1,416	384,654	496	13	1,468
一宮市	20,694	1,211	378,496	547	12	1,725
豊田市	21,722	829	416,146	522	17	1,278
大津市	20,795	1,447	343,916	605	10	2,080
豊中市	27,810	963	408,059	682	14	1,986
吹田市	23,149	1,620	382,681	605	9	2,572
高槻市	24,743	967	346,972	713	11	2,249
枚方寝屋川	45,715	1,779	619,957	737	17	2,689
八尾市	18,694	169	264,642	706	6	3,116
東大阪市	37,355	1,613	485,709	769	11	3,396
尼崎市	35,006	2,150	459,593	762	10	3,501
明石市	17,788	1,115	305,404	582	7	2,541
西宮市	28,686	2,218	483,927	593	11	2,608
奈良市	24,166	1,174	349,385	692	12	2,014
鳥取県東部広域	12,235	766	218,839	559	13	941
松江市	10,992	1,166	196,021	561	13	846
倉敷市	27,108	1,562	500,942	541	17	1,595
呉市	12,083	539	205,349	588	14	863
福山地区	26,104	1,733	503,652	518	15	1,740
下関市	17,349	674	247,000	702	10	1,735
高松市	27,041	1,778	459,544	588	14	1,932
松山市	29,987	1,597	501,670	598	16	1,874
高知市	21,056	624	317,547	663	11	1,914
久留米広域	25,406	1,881	452,546	561	16	1,588
長崎市	29,101	313	468,097	622	15	1,940
大分市	23,548	1,748	474,665	496	13	1,811
大宮市	21,713	1,959	423,507	513	10	2,171
鹿児島市	38,546	1,901	586,496	657	18	2,141
那覇市	23,701	1,042	315,485	751	7	3,386

※ 調査時点で暫定値を掲載している消防本部もあります。

第2 傷病者の状況

1 事故別・傷病程度別搬送人員

傷病者の程度別をみると、中等症及び軽症が増加しています。

	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		前 年 人 数	前 年 比	
												転 院 搬 送	そ の 他			
合計	27,250 (100.0)	18 (0.1)	- (-)	6 (0.0)	1,797 (6.6)	284 (1.0)	148 (0.5)	4,410 (16.2)	85 (0.3)	158 (0.6)	17,292 (63.5)	3,047 (11.2)	5 (0.0)	25,370	1,880	
姫路市消防局	死亡	309	-	-	1	12	1	-	17	-	17	259	2	-	296	13
	重篤	253	-	-	-	16	1	-	17	-	4	207	8	-	267	▲14
	重症	885	2	-	-	53	25	3	68	4	9	592	129	-	1,067	▲182
	中等症	14,561	8	-	4	407	116	39	1,924	17	79	9,159	2,805	3	13,812	749
	軽症	11,242	8	-	1	1,309	141	106	2,384	64	49	7,075	103	2	9,928	1,314
姫路市	死亡	280	-	-	1	12	-	-	15	-	15	235	2	-	267	13
	重篤	237	-	-	-	13	1	-	15	-	4	196	8	-	253	▲16
	重症	830	2	-	-	51	21	3	64	4	9	554	122	-	978	▲148
	中等症	13,536	7	-	3	382	106	39	1,776	17	71	8,505	2,628	2	12,761	775
	軽症	10,596	7	-	1	1,253	134	102	2,237	63	45	6,655	97	2	9,305	1,291
小計	25,479	16	-	5	1,711	262	144	4,107	84	144	16,145	2,857	4	23,564	1,915	
市川町	死亡	6	-	-	-	-	-	-	1	-	1	4	-	-	7	▲1
	重篤	4	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	5	▲1
	重症	15	-	-	-	1	1	-	2	-	-	11	-	-	24	▲9
	中等症	255	-	-	-	8	2	-	42	-	2	187	14	-	257	▲2
	軽症	185	-	-	-	10	-	1	39	-	1	133	1	-	149	36
小計	465	-	-	-	21	3	1	84	-	4	337	15	-	442	23	
福崎町	死亡	9	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	12	▲3
	重篤	6	-	-	-	1	-	-	1	-	4	-	-	-	6	-
	重症	22	-	-	-	1	2	-	2	-	-	16	1	-	41	▲19
	中等症	462	-	-	-	11	7	-	62	-	5	278	98	1	477	▲15
	軽症	324	-	-	-	35	5	3	70	1	3	203	4	-	297	27
小計	823	-	-	-	48	14	3	135	1	8	510	103	1	833	▲10	
神河町	死亡	14	-	-	-	-	1	-	1	-	1	11	-	-	10	4
	重篤	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	-	-	3	3
	重症	18	-	-	-	-	1	-	-	-	-	11	6	-	23	▲5
	中等症	305	1	-	1	5	1	-	43	-	1	188	65	-	317	▲12
	軽症	133	-	-	-	10	2	-	37	-	-	83	1	-	168	▲35
小計	476	1	-	1	15	5	-	82	-	2	298	72	-	521	▲45	
管外	死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重篤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	▲1
	中等症	3	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	3
	軽症	4	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	9	▲5
小計	7	1	-	-	2	-	-	2	-	-	2	-	-	10	▲3	

()内の数値は構成比 (%)

※ 重篤とは、生命の危険が切迫しているものをいう。
重症とは、3週間以上の入院加療を要するものをいう。
中等症とは、3週間未満の入院加療を要するものをいう。
軽症とは、入院加療を必要としないものをいう。

2 年齢別・事故別搬送人員

年齢別搬送人員は、高齢者が過半数を占めています。

年齢 事故別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	17,292 (63.5)	10 (0.0)	1,059 (3.9)	495 (1.8)	4,765 (17.5)	10,963 (40.2)
交通	1,797 (6.6)	- (-)	42 (0.2)	175 (0.6)	1,006 (3.7)	574 (2.1)
一般	4,410 (16.2)	1 (0.0)	324 (1.2)	182 (0.7)	809 (3.0)	3,094 (11.4)
その他	3,751 (13.8)	17 (0.1)	59 (0.2)	172 (0.6)	1,264 (4.6)	2,239 (8.2)
合計	27,250 (100.0)	28 (0.1)	1,484 (5.4)	1,024 (3.8)	7,844 (28.8)	16,870 (61.9)

年齢区分

※ ()内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者

成人:満18歳以上65歳未満の者

3 年齢別・傷病程度別搬送人員

年齢 程度別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
死亡	309 (1.1)	- (-)	1 (0.0)	1 (0.0)	42 (0.2)	265 (1.0)
重篤	252 (0.9)	- (-)	2 (0.0)	5 (0.0)	59 (0.2)	186 (0.7)
重症	886 (3.3)	2 (0.0)	12 (0.0)	15 (0.1)	237 (0.9)	620 (2.3)
中等症	14,561 (53.4)	21 (0.1)	356 (1.3)	258 (0.9)	3,221 (11.8)	10,705 (39.3)
軽症	11,242 (41.3)	5 (0.0)	1,113 (4.1)	745 (2.7)	4,285 (15.7)	5,094 (18.7)
合計	27,250 (100.0)	28 (0.1)	1,484 (5.4)	1,024 (3.8)	7,844 (28.8)	16,870 (61.9)

年齢区分

※ ()内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者

成人:満18歳以上65歳未満の者

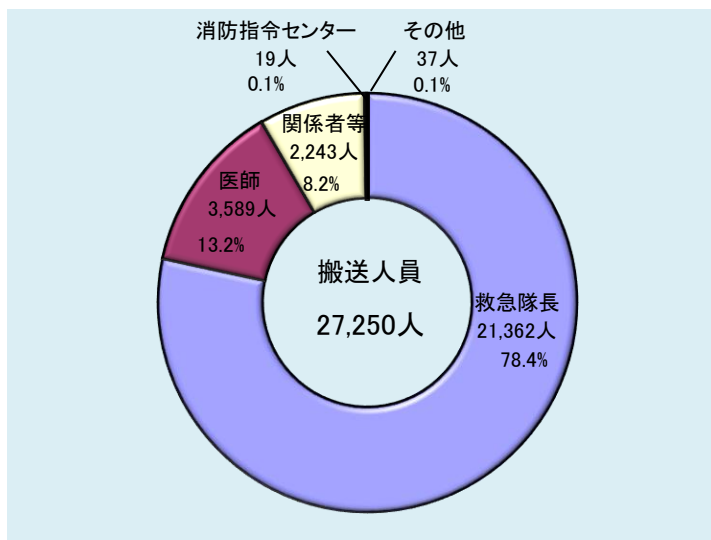
4 年齢別・事故別人口比(人口1,000人当たりの搬送人員)

年齢別・事故別人口比は、80歳以上の急病が約120人と最も多く、管轄住民の約21人に1人を搬送したことになります。

	合計	0~3	4~6	7~9	10~15	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上
人口	567,401 (527,088)	16,183 (15,315)	13,784 (12,920)	14,884 (13,933)	32,040 (29,854)	22,092 (20,532)	58,836 (55,339)	60,061 (56,319)	77,688 (72,755)	81,025 (75,762)	65,188 (59,678)	72,728 (66,548)	52,892 (48,133)
急病	30.5 (30.6)	48.2 (47.5)	21.0 (21.3)	8.3 (8.1)	7.9 (7.9)	10.8 (11.3)	14.3 (14.5)	11.9 (12.1)	13.4 (13.6)	16.2 (16.5)	25.8 (25.9)	50.8 (51.7)	119.8 (121.5)
交通	3.2 (3.2)	1.7 (1.7)	1.1 (1.2)	2.6 (2.5)	2.7 (2.7)	5.7 (5.7)	4.4 (4.5)	2.5 (2.7)	2.4 (2.5)	2.7 (2.8)	3.4 (3.4)	3.6 (3.8)	3.9 (4.0)
一般	7.8 (7.8)	14.9 (15.1)	6.1 (6.0)	4.6 (4.7)	3.0 (2.9)	1.7 (1.6)	1.8 (1.9)	1.4 (1.4)	1.9 (2.0)	3.2 (3.2)	6.4 (6.6)	11.7 (11.8)	38.0 (38.6)
その他	6.6 (6.7)	3.5 (3.7)	1.4 (1.5)	1.7 (1.7)	2.8 (2.9)	4.2 (4.2)	4.2 (4.2)	3.4 (3.5)	2.9 (2.9)	4.4 (4.4)	6.4 (6.5)	10.9 (11.1)	23.2 (23.7)
合計	48.0 (48.3)	68.3 (68.0)	29.5 (29.9)	17.1 (16.9)	16.4 (16.5)	22.4 (22.7)	24.6 (25.2)	19.2 (19.7)	20.6 (21.0)	26.5 (27.0)	41.9 (42.4)	76.9 (78.3)	185.0 (187.9)

※ ()内の数値は姫路市の数値です

5 医療機関の選定状況



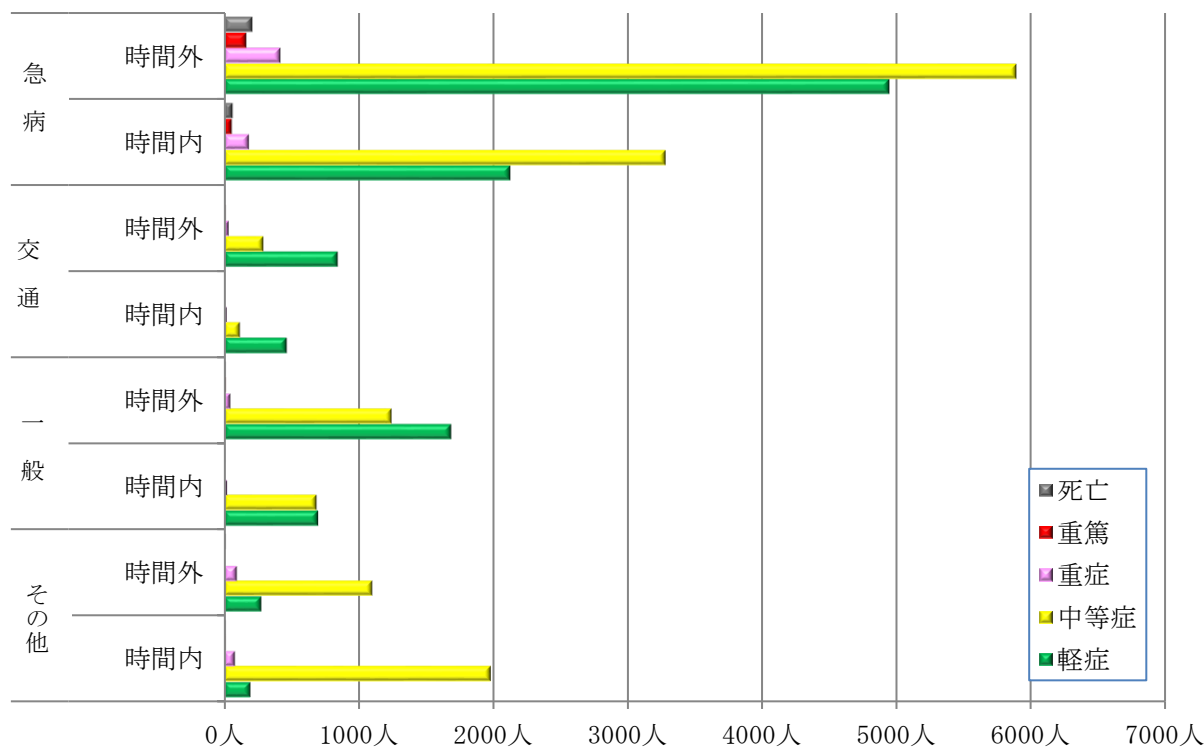
・医療機関の選定は、救急隊長の選定が最も多く、次いで医師、関係者等の順となっています。

・消防指令センター及び救急隊長選定は、最寄りの適合医療機関へ搬送することを原則に播磨姫路救急搬送システム (HEARTS)、県救急医療情報システム、県個別搬送要請システム、病院群輪番制、休日夜間急病センター、二次病院などの医療情報を参考にして病院搬送を行っています。

・救急隊長選定の中には、車両端末や他隊の受け入れ状況及び収容時間等を考慮した消防指令センターとの連携も含まれています。

6 診療時間別搬送人員

搬送人員の約63.4%が診療時間外となっています。



		軽症	中等症	重症	重篤	死亡	合計
急病	時間内	2,124人	3,268人	182人	53人	60人	5,687人
	時間外	4,951人	5,891人	410人	154人	199人	11,605人
交通	時間内	466人	117人	20人	6人	5人	614人
	時間外	843人	290人	33人	10人	7人	1,183人
一般	時間内	698人	684人	22人	5人	7人	1,416人
	時間外	1,686人	1,240人	46人	12人	10人	2,994人
その他	時間内	197人	1,974人	79人	9人	11人	2,270人
	時間外	277人	1,097人	93人	4人	10人	1,481人

※ 診療時間内とは、月～金曜日の9:00～17:00、土曜日は9:00～12:00に傷病者を医療機関へ搬送したもので、休日(年末年始を含む)と他の時間は、診療時間外に算入しています。

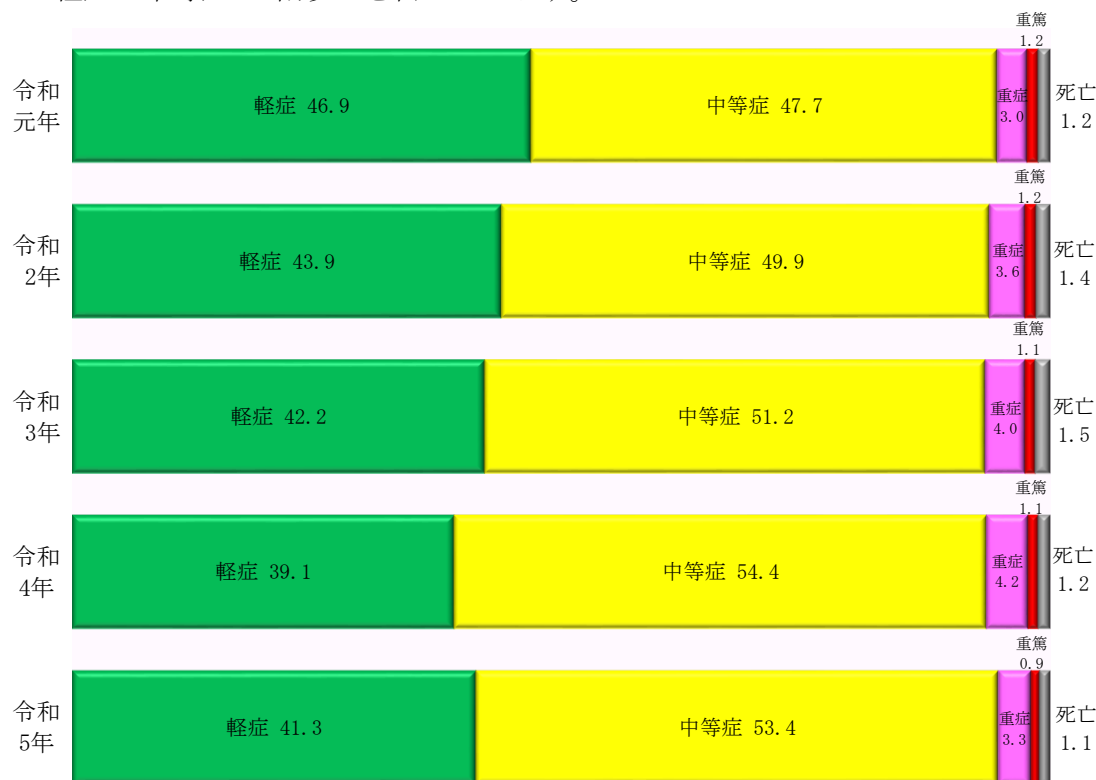
7 管轄外への救急搬送

	令和5年	令和4年
加西市	225 (38)	230 (39)
高砂市	264 (13)	437 (11)
加古川市	288 (75)	462 (85)
たつの市	347 (25)	436 (26)
宍粟市	133 (21)	87 (23)
神戸市	50 (26)	100 (48)
明石市	37 (6)	57 (11)
相生市	7 (2)	14 (3)
赤穂市	9 (2)	31 (7)
太子町	31 (2)	22 (3)
県外	14 (12)	11 (8)
その他	35 (17)	68 (24)
合計	1,440 (239)	1,955 (288)

()内は転院搬送の搬送者数

8 過去5年間の傷病程度構成比の推移

軽症・中等症が9割以上を占めています。



9 過去5年間の急病件数の推移

事故別で最も多い急病は、全件数の65.2%を占めています。

区分	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
急病件数	18,199	(1,245)	16,531	(1,059)	16,680	(1,137)	21,162	(1,442)	22,398	(1,482)
全件数	28,987	(1,978)	26,476	(1,707)	26,567	(1,815)	32,385	(2,170)	34,342	(2,237)
全件数に占める割合(%)	62.8	(62.9)	62.4	(62.0)	62.8	(62.6)	65.3	(66.5)	65.2	(66.2)
搬送人員	15,561	(1,127)	13,853	(932)	13,733	(1,019)	15,880	(1,166)	17,292	(1,145)

※ ()内の数値は受託町

10 科目別傷病程度と傷病名(急病)

診療科目別搬送人員は、脳血管障害以外の循環器科と呼吸器科の疾患が多くなっています。

区分 科目別	搬送人員	前年数	前年比	傷病程度					傷病名		
				死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1位	2位	3位
合計	17,292	15,880	1,412	259	207	592	9,159	7,075	発熱	意識障害・意識消失	腹痛
構成比	100%	-	-	1.5%	1.2%	3.4%	53.0%	40.9%	1,935	1,147	1,134
消化器科	3,109	2,780	329	1	6	48	1,687	1,367	腹痛 1,134	悪心・嘔気・嘔吐 565	吐・下血 417
循環器科	1,568	1,519	49	-	6	173	1,080	309	脳卒中 655	頭痛 207	脳梗塞 188
	4,666	4,537	129	255	181	236	2,247	1,747	意識障害・意識消失 1,147	疲労・脱力感 613	眩暈(めまい) 601
呼吸器科	4,331	3,329	1,002	1	11	83	2,536	1,700	発熱 1,935	呼吸困難 698	痙攣発作 536
精神科	298	263	35	-	-	2	122	174	癲癇(てんかん) 145	急性742-4中重・742-4精神科 88	他の精神疾患 15
神経科	1,549	1,274	275	-	1	15	655	878	腰痛症 352	眩暈(めまい) 312	痙攣発作 212
泌尿器科	561	530	31	-	-	2	250	309	尿管結石・尿路結石 271	尿閉 78	他の泌尿器疾患 53
産婦人科	139	126	13	-	-	4	74	61	性器不正出血 23	月経痛 21	産婦人科の急性腹症 13
感覚器科	143	126	17	-	-	-	12	131	鼻出血 81	メニエル氏病 26	他の眼疾患 10
内分泌科	191	170	21	-	2	10	130	49	低血糖症 116	糖尿病 29	他の内分泌疾患 12
皮膚科	97	91	6	-	-	3	49	45	蕁麻疹(じんま疹) 31	蜂窩織炎 30	他の皮膚疾患 19
感染症	281	866	▲585	1	-	10	181	89	指定感染症 159	トラコーマ 45	インフルエンザ 44
その他	359	269	90	1	-	6	136	216	熱中症 263	前後、機能検査における異常所見 41	診断不明確および原因不明の死亡 37

(注) 循環器科の上段は脳血管、下段は脳血管以外です。

11 受傷部位・傷病程度と傷病名(外傷)

受傷部位は、頭部・顔面が2,555人(37.0%)、次いで下肢が1,865人(27.0%)で多く、また、傷病程度は、軽症が3,893人(56.3%)と半数以上を占めています。

区分 科目別	搬送人員	前年数	前年比	傷病程度					傷病名		
				死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1位	2位	3位
合計	6,913	6,641	272	40	33	176	2,771	3,893	頭部外傷	大腿骨 骨折(非開放性)	頭部 挫創・裂創等
構成比	100%	-	-	0.6%	0.5%	2.5%	40.1%	56.3%	1,292	918	459
頭部 顔面	2,555 37.0%	2,403 36.2%	152	2	7	30	527	1,989	頭部外傷 1,292	頭部 挫創・裂創等 459	顔面・耳 挫創・裂創等 407
下 肢	1,865 27.0%	1,788 26.9%	77	-	-	63	1,265	537	大腿骨 骨折(非開放性) 918	下肢 打撲・圧迫 454	下肢 挫創・裂創等 114
頸 部	185 2.7%	192 2.9%	▲7	-	1	2	21	161	頸椎捻挫 129	頸部 打撲・圧迫 44	頸部 挫創・裂創等 4
上 肢	920 13.3%	847 12.8%	73	-	-	12	297	611	上肢 打撲・圧迫 223	上肢 挫創・裂創等 128	前腕骨 骨折(非開放性) 90
胸 部	265 3.8%	323 4.9%	▲58	-	1	8	93	163	胸部 打撲・圧迫 220	鎖骨 骨折(非開放性) 26	気胸・血胸 11
腰部 臀部	209 3.0%	163 2.5%	46	-	1	8	113	87	臀部 打撲・圧迫 152	骨盤 骨折(非開放性) 34	ギックリ腰、椎間板ヘルニア 8
背 部	268 3.9%	261 3.9%	7	-	-	1	112	155	背部 打撲・圧迫 263	背部 表在損傷(擦過傷) 3	背部の刺創 1
全 身	40 0.6%	37 0.6%	3	3	2	14	19	2	全身打撲骨折 37	全身中等症 熱傷 2	全身軽症 熱傷 1
腹 部	72 1.0%	88 1.3%	▲16	-	-	2	31	39	腹部 打撲・圧迫 59	腹腔内臓器損傷(破裂を除く) 6	腹部軽症 熱傷 4
体 幹 部	224 3.2%	236 3.6%	▲12	-	2	18	182	22	体幹部 骨折(非開放性) 179	頸髄損傷 42	胸髄損傷 2
そ の 他	310 4.5%	303 4.6%	7	35	19	18	111	127	咽・喉頭 異物 65	その他(肋骨等)の非開放性骨折 47	食道・胃 異物 23

12 発生場所別傷病程度(交通事故)

事故の発生場所別搬送人員は、一般道路上が圧倒的に多く、1367人(76.1%)となっています。

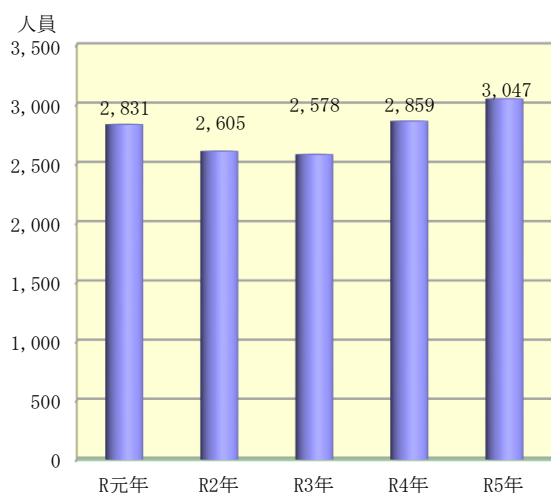
発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	国 道 2 号	国 道 250 号	国 道 312 号	姫 路 バ イ パ ス	播 但 連 絡 道	山 陽 自 動 車 道	中 国 自 動 車 道	国 道 29 号	国 道 372 号	一 般 道 路	そ の 他 の 場 所
搬送人員	1,797	1,768	29	74	62	54	30	5	9	4	22	26	1,367	144
前年数	1,768	-	-	71	51	54	22	3	18	5	9	15	1,381	139
前年比	29	-	-	3	11	0	8	2	▲9	▲1	13	11	▲14	5
死亡	12	5	7	-	1	-	-	-	1	-	-	1	8	1
重篤	16	10	6	-	2	1	-	-	-	-	1	-	10	2
重症	53	60	▲7	1	3	2	2	-	-	-	1	-	38	6
中等症	407	466	▲59	17	10	17	2	2	-	1	6	10	310	32
軽症	1,309	1,227	82	56	46	34	26	3	8	3	14	15	1001	103

13 発生場所別傷病程度(一般負傷)

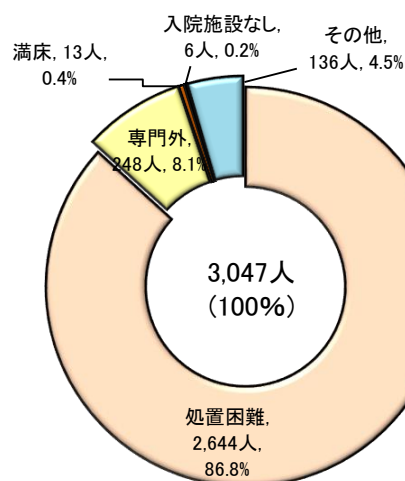
一般負傷での出場は、一般住宅が最も多く、次いで道路上となっています。

発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	一 般 住 宅	共 同 住 宅	道 路 上	店 舗 ホ テ ル	福 祉 施 設	学 校	駅 停 留 所 等	仕 事 場	病 院	屋 内 ・ 屋 外 他	そ の 他
搬送人員	4,410	4,157	253	2,069	503	601	272	392	56	65	47	26	343	36
前年数	4,157	-	-	2,024	467	530	231	375	58	44	27	28	330	43
前年比	253	-	-	45	36	71	41	17	▲2	21	20	▲2	13	▲7
死亡	17	21	▲4	12	1	-	-	3	-	-	-	-	1	-
重篤	17	16	1	5	2	2	1	5	-	-	-	-	1	1
重症	68	89	▲21	35	4	9	4	11	-	1	-	-	4	-
中等症	1,924	1,925	▲1	1,038	202	174	71	265	8	16	15	11	110	14
軽症	2,384	2,106	278	979	294	416	196	108	48	48	32	15	227	21

14 過去5年間の転院搬送人員の推移

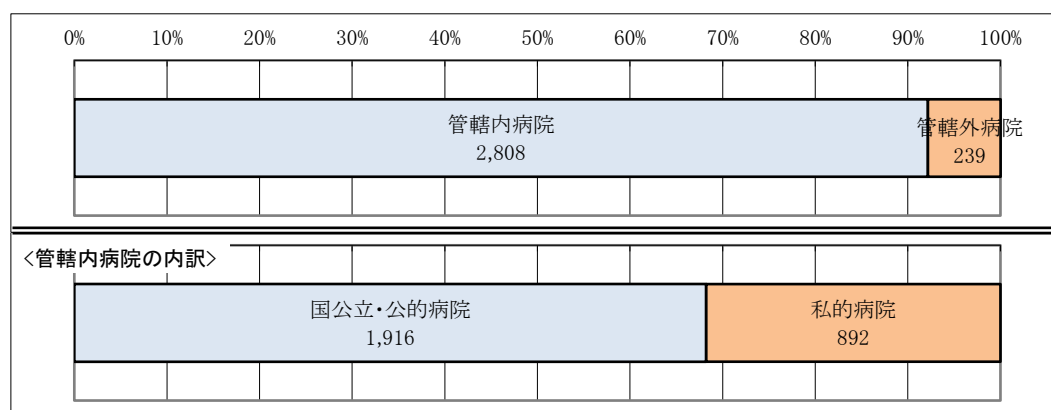


15 転院の理由



16 転院医療機関

転院先の約90%が管轄内病院となっています。



17 管轄外・県外の転院医療機関

医療機関名	搬送人員
市立加西病院	36
加古川中央市民病院	47
公立宍粟総合病院	21
県立加古川医療センター	18
県立こども病院	12
神戸大学医学部附属病院	7
順心病院	10
高砂西部病院	11
岡山大学医学部附属病院	2
高砂市民病院	2
たつの市民病院	18
明石医療センター	2
西脇市立西脇病院	1
その他	52
合計	239

転院に要した最長時間は6時間21分、最長距離は243.3kmです。

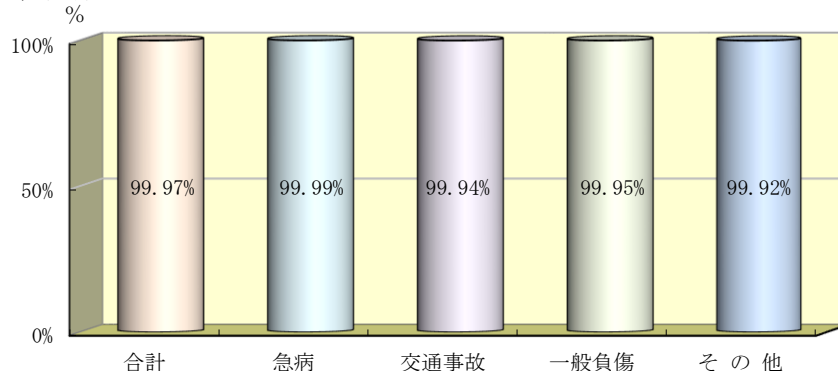
このことは、転院出場している救急車受持区域において、次の救急が発生した場合、最も近い救急隊の現場への到着が遅れる一因となっています。

18 隊員の行った応急処置の状況

救急隊員は、全搬送人員27,250人中の約99.97%にあたる27,242人に対し、応急処置を実施しています。

事故種別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置割合	99.97%	99.99%	99.94%	99.95%	99.92%
搬送人員	27,250	17,292	1,797	4,410	3,751
対象人員	27,242	17,290	1,796	4,408	3,748

応急処置割合



19 応急処置実施状況

区 分	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	その他	
止 血	947	119	138	605	85	
固 定	933	27	435	344	127	
人 工 呼 吸	135	108	6	12	9	
胸 骨 圧 迫	34	27	2	1	4	
心 肺 蘇 生	516	437	18	31	30	
酸 素 吸 入	4,517	3,285	98	170	964	
気道確保(特定行為以外)	786	648	30	57	51	
保 温	977	628	74	86	189	
被 覆	2,178	141	485	1,352	200	
在 宅 療 法	189	168	3	18	0	
除 細 動	44	40	—	—	4	
そ の 他	40,861	27,673	2,535	6,139	4,514	
特定行為	気道確保 (うち気管挿管)	383 (11)	330 (5)	14 (0)	22 (5)	17 (1)
	アドレナリン投与	156	124	9	14	9
	輸 液 (うち心肺停止前輸液)	395 (116)	340 (106)	14 (4)	25 (4)	16 (2)
	血 糖 測 定	423	398	2	13	10
	ブドウ糖投与	69	68	—	—	1
	合 計	53,554	34,566	3,863	8,894	6,231

※ 実施数(特定行為を除く)は、現場及び車内処置の合計です。
特定行為については、実施対象者数です。

20 救急資器材使用状況

使用資器材名(観察)	使用回数	使用資器材名(処置)	使用回数
パルスオキシメーター	32,064	毛 布	1,392
聴 診 器	9,424	酸 素 吸 入 器	8,815
心 電 計	21,073	ガ ー ゼ	2,527
血 圧 計	31,142	頸 部 固 定 具	697
瞳 孔 点 眼 灯	14,558	三 角 巾	158
体 温 計	31,774	バ ッ グ バ ル ブ マ ス ク	586
触 診	32,260	絆 創 膏	167
呼気炭酸ガス測定器	372	自 動 体 外 式 除 細 動 器	840
		食 道 閉 鎖 式 エ ア ウ ェ イ	410
		吸 引 器	343
		頸 椎 脊 椎 固 定 用 具	337
		酸 素 吸 入 用 マ ス ク	8,815
		輸 液 セ ッ ト	476
		副 子	124
		人 工 呼 吸 器	173
		包 帯 類	1,038
		喉 頭 鏡	56
		そ の 他	17,633
合 計	172,667	合 計	44,587

21 搬送体位別搬送人員

体位区分	搬送人員	体位区分	搬送人員	体位区分	搬送人員
仰 臥 位	12,049	頭 側 高 位	310	足 側 高 位	250
座 位	12,818	抱 き か か え	795	腹 臥 位	45
側 臥 位	836	膝 屈 曲 位	45	そ の 他	102
				合 計	27,250

22 救命率

救急隊が搬送した心肺停止患者520人中、生存者は42人で、うち22人が社会復帰されています。

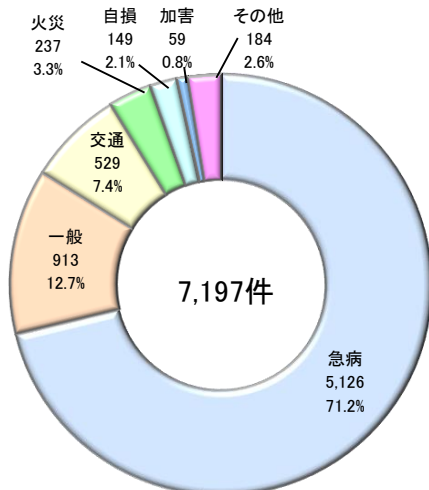
区 分		合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院
救急隊による心肺停止患者搬送者数		520	—	—	1	20	2	—	31	—	20	439	7
上記のうち市民による心肺蘇生法実施者数		225	—	—	—	4	2	—	20	—	6	189	4
1日以上7日未満生存		16	—	—	—	—	—	—	1	—	—	14	1
7日以上30日未満生存		12	—	—	—	—	—	—	2	—	1	8	1
30日以上生存		42	—	—	—	—	—	—	3	—	1	35	3
30日以上生存の内、社会復帰		22	—	—	—	—	—	—	1	—	1	19	1
発 生 場 所	個人住宅	281	—	—	—	—	—	—	16	—	12	253	—
	共同住宅	63	—	—	—	1	—	—	3	—	6	53	—
	福祉施設等	96	—	—	—	—	—	—	8	—	—	88	—
	一般道・高速道	39	—	—	—	17	—	—	2	—	—	20	—
	その他の屋外・屋内	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	ホテル・デパート等	11	—	—	—	—	—	—	1	—	—	10	—
	工場・作業場等	5	—	—	—	—	1	—	—	—	1	3	—
	病院・診療所等	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	7
	JR姫路駅・構内	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	デモ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	広場・遊園地・空地等	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	山・川・池・海等	5	—	—	1	1	1	—	1	—	—	1	—
	その他	7	—	—	—	1	—	—	—	—	—	6	—
年 齢	3歳未満	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	4～6歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7～15歳	4	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	—
	16～19歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	20～29歳	5	—	—	—	3	—	—	—	—	1	1	—
	30～39歳	4	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	—
	40～49歳	25	—	—	—	—	1	—	1	—	3	20	—
	50～59歳	29	—	—	—	2	1	—	—	—	4	21	1
	60～69歳	53	—	—	—	4	—	—	3	—	—	44	2
	70～79歳	139	—	—	1	3	—	—	5	—	5	123	2
80～89歳	183	—	—	—	7	—	—	14	—	3	158	1	
90歳以上	75	—	—	—	1	—	—	8	—	—	66	—	

※ 市民処置は、傷病者の側にいた人が心肺蘇生法、または胸骨圧迫を実施した数です。

※ 生存者は、30日以上生存されている方です。

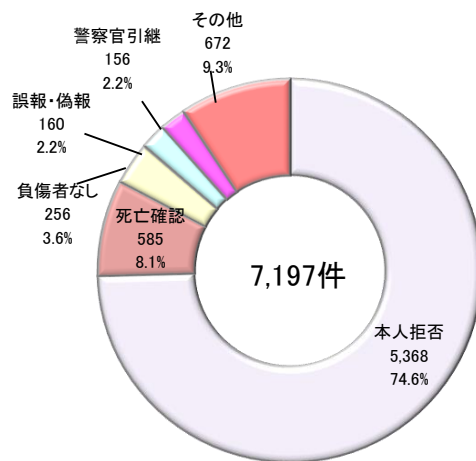
23 不搬送状況

出場件数34,342件に対する不搬送件数は7,197件(21.0%)です。



24 不搬送理由

不搬送理由のうち本人拒否については、慎重な観察を行う必要があります。



25 過去5年間の傷病者の推移

年次 傷病区分	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
総計	25,108	22,561	22,249	25,370	27,250
外傷性(合計)	6,706	6,116	6,010	6,641	6,913
開放創傷	1,224	1,215	1,171	1,226	1,300
開放性骨折	74	56	57	62	64
非開放性骨折	1,366	1,258	1,351	1,569	1,606
表在損傷	108	82	79	64	96
頭部外傷等	1,319	1,060	1,200	1,415	1,489
打撲・捻挫	2,214	2,082	1,738	1,896	1,926
切断創	18	18	20	20	24
熱傷	88	81	78	75	85
異物	144	128	130	126	141
咬傷	92	73	68	66	77
その他	59	63	118	122	105
非外傷性(合計)	18,402	16,445	16,239	18,729	20,337
循環器系	7,326	6,595	6,428	7,104	7,377
脳血管障害	1,234	1,192	1,263	1,362	1,470
心疾患	1,516	1,475	1,423	1,515	1,574
血液・造血器	44	55	25	33	34
新生物	28	20	23	26	24
診断名不明確	4,240	3,615	3,460	3,931	4,059
その他	264	238	234	237	216
呼吸器系	3,906	3,388	3,398	3,731	4,866
上気道	86	53	41	53	56
喘息	96	61	60	69	75
肺炎	573	537	474	470	614
新生物	51	70	72	69	84
診断名不明確	2,152	1,990	2,061	2,281	3,069
その他	948	677	690	789	968
消化器系	3,363	3,006	2,914	3,308	3,707
胃・十二指腸	211	196	171	159	189
腸・下部消化管	1,832	1,650	1,686	1,954	2,152
肝・胆	210	208	207	223	208
新生物	107	120	97	109	124
診断名不明確	772	673	600	680	842
その他	231	159	153	183	192
神経系	1,695	1,455	1,298	1,339	1,659
中毒	124	113	110	112	149
自律神経	16	18	13	12	19
腰痛	402	336	304	320	414
中枢神経	40	25	34	33	47
その他	1,113	963	837	862	1,030

年次 傷病区分	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
精神系	458	391	311	284	327
アルコール中毒	162	147	76	66	90
神経症	11	8	2	6	4
そううつ	14	12	9	7	12
その他	271	224	224	205	221
泌尿器系	586	580	602	637	654
腎炎・腎不全	106	114	101	117	98
結石	242	227	291	262	293
前立腺	7	6	3	2	5
新生物	17	26	17	24	21
その他	214	207	190	232	237
産婦人系	277	247	240	279	266
分娩	50	39	34	50	37
分娩疾患	43	44	45	64	47
妊娠・流産	33	34	34	34	42
月経・生殖器	67	63	65	56	70
出産児	8	13	8	12	10
新生物	20	16	20	26	24
その他	56	38	34	37	36
感覚器系	178	140	149	135	154
眼球	20	18	15	26	22
耳鼻	158	122	134	109	132
その他	-	-	-	-	-
内分泌系	186	175	178	183	206
甲状腺	5	2	2	3	5
糖尿病	132	141	144	141	160
新生物	3	3	2	3	8
その他	46	29	30	36	33
感染系	110	151	349	1,075	352
第四類感染症	71	18	-	1	46
食品	-	5	-	-	-
結核	5	7	3	4	1
その他	34	121	346	1,070	305
皮膚系	112	90	97	101	111
皮下組織	35	43	42	36	51
新生物	4	1	3	2	3
その他	73	46	52	63	57
筋骨格系	-	-	115	127	146
筋骨格系疾患	-	-	107	123	142
新生物	-	-	8	4	4
その他	205	227	160	426	512
熱中症	205	227	151	242	308
他の新生物	-	-	2	2	1
その他の分類	-	-	7	182	203

26 市民処置状況

実施者区分 応急処置区分	合計	本人・ 家族	医療 従事 者	知人・ 同僚	職員・ 団員	教職員	警察官	実施 者 不明	その他	加害者
胸骨圧迫	250	127	43	11	—	—	3	4	62	—
人工呼吸	3	1	—	—	—	—	—	—	2	—
気道確保	13	6	2	—	—	—	—	—	5	—
創傷・緊縛処置	55	42	2	4	—	—	1	—	6	—
移動体位管理	40	24	2	3	—	—	1	2	8	—
除細動	7	1	3	1	—	—	—	—	2	—
固定処置	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保温	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	31	19	3	4	—	—	—	—	5	—
合計	419	225	63	25	0	0	5	6	95	—

※ 救命率向上のためには、救急隊が現場到着するまでの間に付近の人が行う応急手当が最も重要です。

※ 市民処置が実施されていたが不搬送となった事案も含まれます。

27 救急救命士の特定行為等実施状況の推移

区分 年次	特定行為の指示を受けた患者		気道確保	静脈路確保		アドレナリン投与	除細動	血糖測定	ブドウ糖投与
	心肺停止	拡大2行為							
令和元年	511	119	420(22)	396	(92)	161	53	254	26
令和2年	530	128	423(18)	405	(85)	186	40	212	44
令和3年	511	126	403(11)	384	(88)	172	50	247	31
令和4年	489	142	381(12)	380	(104)	168	77	337	41
令和5年	505	157	383(11)	395	(116)	156	44	423	69

※ 気道確保の()内は気管挿管、静脈路確保の()内は心肺停止前静脈路確保実施数です。
平成28年より、救急救命士による心肺停止前静脈路確保及び輸液、血糖測定、ブドウ糖投与の運用を開始しました。

付 表

救急関連業務

1 救急体制

(1) 救急出場体制

救急隊の運用は、高機能消防指令システムにより、救急事案の覚知と同時に最寄りの救急隊が自動的に選定され出場します。通常の救急隊運用で対応できない集団災害などが発生したときは、「集団災害対応マニュアル」により、出場を行います。

(2) 救急隊

救急隊は、救急自動車1台と、原則として救急隊員3人以上をもって編成し、救急自動車には搬送に適した設備と救急業務を行う上で必要な資器材を装備しています。

ア 救急隊員

救急業務は、傷病者の状態によっては直接生命にかかわる応急処置を必要とすることがあり、救急隊員には傷病者の救護に当たって専門的な知識と技術が要求されるため、昭和53年11月1日「消防法施行令」の一部改正により、自治省令に定める講習の修了者をもって運用していましたが、平成3年8月5日「救急隊員の行う応急処置等の基準」の一部改正及び平成3年8月15日「救急救命士法」の施行により、救急救命士の資格を有する者、救急Ⅱ課程・救急標準課程・救急科を修了した救急隊員をもって行っています。

なお、救急隊員に対する教育訓練及び救急救命士の養成等を計画的に実施するとともに、気管挿管、薬剤投与等を実施できる認定救急救命士の養成を進め、救命率の向上に努めています。

救急標準課程修了者(救急Ⅱ課程等含)	423
救急救命士(厚生労働大臣)	149
気管挿管認定救急救命士	68
ビデオ喉頭鏡挿管認定救急救命士	60
薬剤認定救急救命士	126
拡大二行為認定救急救命士	124

(令和5年12月31日現在)

イ 救急自動車積載資器材

観察用	体温計	保温・搬送用	担架	モンディアルストレッチャー
	瞳孔点眼灯			レスキューシート
	血圧計			布担架
	心電計			バックボード(全脊柱固定用担架)
	聴診器			スクープストレッチャー
	患者監視装置		敷物・まくら	
	パルスオキシメーター		保温用毛布	
	血糖測定器		救急アルミックシート	
呼吸・循環管理用	自動式人工呼吸器	消毒用	オゾン除染システム	
	バッグバルブマスク		各種消毒薬	
	加湿流量計付酸素吸入装置	救出用	ウインドポンチ・ガラスカッター・クリッパー	
	電動式吸引器		万能斧・バール・シートベルトカッター	
	呼気炭酸ガス濃度測定器		救命綱・救命浮環	
	口腔エアウェイ・経鼻エアウェイ	通信用	車載無線機	
	喉頭鏡		携帯電話(スマートフォン・従来型)	
	マギール鉗子		車両運用端末装置	
	モニター内蔵型ビデオ喉頭鏡	タブレット端末(iPad)		
	酸素ボンベ	その他の資器材	在宅療法継続用資器材	
自動体外式除細動器	汚物入			
食道閉鎖式エアウェイ・気管挿管チューブ	膿盆			
三方活栓付き輸液セット	産科救急セット			
薬剤(アドレナリン・ブドウ糖)	感染防止衣			
創傷等保護用	副子	陰圧副子	感染防止手袋	
		梯状副子	救急かばん等	
		頸部固定副子	サージカルマスク・N95マスク	
	滅菌ガーゼ・不織布ガーゼ	強力ライト		
	三角巾・包帯類	電動リングカッター		
止血帯	LEDベスト			

2 医療体制（令和5年12月31日現在）

(1) 救急告示医療機関

昭和38年の救急業務の法制化に伴い、救急隊により搬送される傷病者に関する医療を確保することを趣旨とした「救急病院等を定める省令」(S39.2厚生省令第8号)に基づき、知事が告示した管内の医療機関は、次の救急病院21医療機関です。なお、救急病院等の認定は、昭和62年2月から3年毎の更新制となっています。

救 急 告 示 医 療 機 関

(令和5年12月31日現在)

医療機関名	区分	所在地 (姫 路 市)	標 傍 科 目	病床数	電 話
独立行政法人 国立病院機構 姫路医療センター		本町68	内、精神、呼内、消内、循内、小、 外、消外、乳外、整、形、脳、呼外、 皮、泌、産、婦、眼、耳、リウマチ、リハビ リ、放診、放治、麻、糖内、頭頸外、緩 内、救、病	405	225-3211
社会医療法人会 松 藤 会 入 江 病 院		飾磨区英賀春日町 二丁目25	内、消内、循内、腎内、人工透析内、 糖内、外、乳外、消外、大・肛外、整、 脳、リハビリ、泌、麻	199	239-3121
医療法人会 ひまわり会 八 家 病 院		西今宿二丁目9-50	整、脳、脳内、リハビリ、麻、ペ外、リウ マチ、内、外、胃内、心内、歯、矯正歯、 小児歯、歯口腔外	111	298-1731
姫路赤十字病院		下手野一丁目12-1	内、消内、血管腫瘍内、肝内、腎内、 糖内、呼内、循内、小、小外、外、乳 外、消外、呼外、心血外、整、形、 脳、皮、泌、産婦、眼、耳鼻咽喉頭頸 部、放診、放治、リハビリ、麻、緩内、化 内、歯、歯口外、病、臨	560	294-2251
社会医療法人会 三 栄 会 ツカザキ病院		網干区和久68-1	脳、外、消外、呼外、心血外、整、乳 外、形、内、糖内、感内、呼内、消 内、循内、脳内、人工透析内、眼、 泌、放、麻、救、リハビリ、病	406	272-8555
医療法人会 公 仁 会 姫路中央病院		飾磨区三宅二丁目36	神内、外、脳、消内、整、消外、麻、 内、循内、放、乳外、肛外、リハビリ、 病、救	235	235-7331
医療法人会 松 浦 会 姫路第一病院		御国野町国分寺143	外、内、整、脳、リハビリ、消内、小、血 外、循内、消外	100	252-0581
医療法人会 仁 寿 会 石 川 病 院		別所町別所二丁目 150	肛外、外、整、脳、リハビリ、リウマチ、放、 内、呼内、心血外、耳、泌	206	252-5235
医療法人社団 光 風 会 長 久 病 院		広畑区小松町二丁目 66-1	脳、循内、脳内、心、外、老精、リハビ リ、放、麻、消内、脊椎外科、糖内	50	237-5252
兵庫県立 はりま姫路 総合医療センター		神屋町三丁目264	内、呼内、消内、循内、腎内、脳内、血 液内、糖内分内、緩内、感内、腫瘍内、 外、呼外、消外、心血外、脳、乳外、小 外、整、形、精神、リウマチ、小、皮、泌、 産婦人、眼、耳、頭頸部、リハビリ、放診、 放治、麻、病診、救、歯科口腔外	736	289-5080
医療法人社団 普 門 会 姫路田中病院		書写717	整、リウマチ、内、外、人工透析、リハビ リ、麻、泌、皮	98	267-2020

救急告示医療機関

(令和5年12月31日現在)

医療機関名	区分	所在地 (姫路市)	標榜科目	病床数	電話
城陽江尻病院		北条一丁目279	内、外、呼内、呼外、放、整、眼、リハビリ、形、泌、循脂内、消内・消外、糖代内、内分泌内、腎内、内視内、人工透析内	157	225-1231
神野病院		飾磨区下野田二丁目533番地3	整、内、外、リウマチ、リハビリ、形、放、麻	103	235-5501
医療法人社団 みどりの会 酒井病院		飾西412-1	外、内、整、消外、脳、泌、リウマチ、人工透析内、麻、眼、リハビリ	112	266-8833
医療法人社団 綱島会 厚生病院		御立西四丁目1-25	内、神内、呼内、消内、循内、眼、リハビリ、放、精、皮、胃腸内	88	292-1109
井野病院		大塩町汐咲一丁目27	内、外、整、眼、小、消内、循内、呼内、糖内、肝胆膵内、神内、人工透析内、リウマチ、放、リハビリ、婦人、耳、皮	100	254-5553
姫路聖マリア病院		仁豊野650	内、呼内、消内、消・肝内、循内、緩内、腎内、神内、人工透析内、外、乳外、消外、大腸・肛門外、内視鏡外、ア、小外、形、整、小、皮、泌、産婦、眼、耳、リハビリ、放、病理診断、救、麻	440	265-5111
國富胃腸病院		青山三丁目33-1	内、胃腸内、外、整、リハビリ、老内、緩内、放、麻	230	266-2355
社会医療法人 三栄会 三栄会広畑病院		広畑区夢前町3丁目1番地	内、消内、整、眼、人工透析内、人工透析外、腎内、神内、脳外、循内、リハビリ、放	130	230-0008
姫路愛和病院		飯田3丁目219-1	内、消内、循内、糖内、外、肛外、整、リウマチ、リハビリ、放、呼内、呼外、麻	108	234-2117
公立神崎総合病院		神崎郡神河町 粟賀町385番地	内、呼内、循内、消内、外、胃腸外、血外、脳、整、小、耳、眼、麻、リハビリ、産婦、皮、泌、精神、心内、歯	140	0790-32-1331

(2) 一般医療機関と救急医療

「救急病院等を定める省令」第1条ただし書きは、「疾病又は負傷の程度が軽易であると診断された傷病者及び直ちに応急的な診療を受ける必要があると認められた傷病者に関する医療を担当する医療機関は、病院又は診療所とする」と定め、傷病者を診察する医療機関は必ずしも救急告示医療機関とは限りません。

(3) 兵庫県立はりま姫路総合医療センター(救命救急センター)

ア 開設年月日 令和4年5月1日

イ 場 所 姫路市神屋町三丁目264

ウ 診療科目 総合内科、循環器内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、腎臓内科
呼吸器内科、腫瘍・血液内科、膠原病リウマチ内科、感染症内科、緩和ケア内科
外科・消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科
形成外科、歯科口腔外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科頭頸部外科、
放射線診断・IVR科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科
精神科、麻酔科・ペインクリニック科、産婦人科、小児科、小児外科

兵庫県立はりま姫路総合医療センターへの選定者別・程度別搬送人員

程度別 選定者	合計	前年数	前年比	死亡	重篤	重症	中等症	軽症
隊長選定	3,494	2226	1,268	70	94	375	2125	830
消防指令センター選定	5	3	2	—	4	—	1	—
医師選定	1,166	705	461	—	5	63	1064	34
関係者依頼	178	134	44	—	—	4	151	23
その他	6	4	2	—	—	1	5	—
合計	4,849	3,072	1,777	70	103	443	3,346	887

(4) 姫路市休日・夜間急病センター

- ア 開設年月日 昭和54年2月15日
 イ 場 所 姫路市西今宿三丁目7番21号
 ウ 診療科目 休日……内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科
 夜間……内科・小児科
 (姫路市医師会の医師が輪番で出務している。)
 エ 診療時間 休日……9時～18時(日曜・祝日(振替日含む)及びお盆、年末年始)
 夜間……21時～翌6時(年中無休)
 オ 開設者 姫路市長 (管理者 一般社団法人姫路市医師会会長)

急病センターの二次後送病院

内 科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・ツカザキ病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター・井野病院・酒井病院・城陽江尻病院 入江病院・姫路第一病院・愛和病院・厚生病院
外 科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・ツカザキ病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路中央病院・石川病院・酒井病院 姫路第一病院・入江病院
小児科	姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター
耳鼻咽喉科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター 姫路聖マリア病院・加古川中央市民病院
眼 科	兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路赤十字病院・加古川中央市民病院 県立加古川医療センター・高砂市民病院・ツカザキ病院

月別搬送状況

月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人 員	253	35	16	19	24	22	22	26	26	19	20	11	13

(5) 脳神経外科輪番制

- ア 開設年月日 昭和57年8月1日
 イ 輪番群 ツカザキ病院・姫路赤十字病院・姫路中央病院
 兵庫県立はりま姫路総合医療センター・長久病院

月別搬送状況

月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人 員	4,847	422	326	397	393	430	360	382	442	433	414	412	436

参考 診療科目が脳神経外科である傷病者の大多数は、これらの輪番群への搬送です。

(6) 整形外科輪番制

- ア 開設年月日 平成6年4月1日
- イ 輪番群 姫路赤十字病院・神野病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター
姫路聖マリア病院・姫路医療センター・ツカザキ病院
石川病院・加藤整形外科・入江病院・八家病院・姫路田中病院
- ウ 在宅輪番 (平成19年4月より日曜昼間)
竹村整形外科医院・井上外科整形外科・かしもと整形外科医院
柴田整形外科クリニック・栗原整形外科・あさの整形外科
段医院・戸谷整形外科・平野整形外科・みやもと診療所
ひまわり整形外科・和田整形外科クリニック・姫路田中病院
吉田整形外科・福島整形外科・長久整形外科・日野整形外科・高祖整形外科
阿保クリニック・三輪整形外科・八家病院

(7) 循環器科輪番制

- ア 開設年月日 平成11年6月1日
- イ 輪番群 ツカザキ病院・姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター

(8) 産婦人科輪番制

- ア 開設年月日 平成17年4月1日
- イ 輪番群 姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路聖マリア病院
おおたレディースクリニック・小国病院・親愛産婦人科・立岩産婦人科医院
西川産婦人科・中林産婦人科クリニック

(9) 姫路市休日歯科診療所(歯科医師会口腔保健センター)

- ア 開設年月日 昭和62年12月30日
- イ 場 所 姫路市安田三丁目107
- ウ 診療時間 休日9時30分～12時
(日曜・祝日(振替日含む)及びお盆、年末年始)
- エ 診療体制 歯科医師1人、歯科衛生士2人、事務員1人
(ゴールデンウィーク、年末年始は増員)
- オ 診療体制 急患のみ(応急処置を行う)
- カ 開設者 一般社団法人 姫路市歯科医師会

3 応急救護知識の普及

傷病者を救急隊や医師の手にゆだねるまでの間に、傷病の状態を更に悪化させないため、応急手当の知識、技術を市民に対して広く普及する必要があります。

応急手当は早く適切に行うことが大切で、特に心肺停止患者に対しては、付近にいる人により心肺蘇生法(CPR)が行われることで救命率が大きく向上します。

また、大規模災害など同時多数の傷病者が発生した場合を想定し、応急手当を自主防災組織、企業等に普及していく必要があります。

令和2年からは新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、救急講習・受講者数が減少しています。

また講習毎に、救急車の適正利用を市民に呼びかけています。

(1) 過去5年間に於ける講習回数と受講者数

年別 区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
受講者数	13,380	2,807	1,840	3,313	5,044
講習回数	480	135	110	152	280

新型コロナウイルスの影響により受講回数(人数)が減少しています。

(2) 対象と講習内容

対象種別	回数	講習内容	回数	人数
総数	280	総数	280	5,044
事業所	86	応急手当指導員講習 (24時間)	7	94
P T A	12	応急手当普及員講習 (24時間)	10	47
学校教職員	29	上級救命講習 (8時間)	2	24
団体・グループ	41	普通救命講習 (3時間)	136	1,691
自治会・自主防災組織	8	救急講習	125	3,188
小・中学生	9			
高校生	7			
スポーツ施設	8			
官公庁職員	20			
社会福祉関係	21			
一般市民等	39			

4 各研修実施状況(令和5年4月～令和6年3月)

(1) 病院実習等

	人数	時間(延べ)	病院名
就業前実習 (薬剤実習含む)	10人	1,600時間	はりま姫路総合医療センター・姫路医療センター 姫路赤十字病院
再教育実習	291人(延べ)	5,085時間	姫路医療センター・姫路聖マリア病院・はりま姫路総合医療センター 公立神崎総合病院・姫路中央病院・県災害医療センター・加古川医療センター
挿管実習	6人		はりま姫路総合医療センター・姫路聖マリア病院・ツカザキ病院
ビデオ喉頭鏡実習	4人		はりま姫路総合医療センター

研修名	参加人数 (延べ)	日付・開催場所
近畿救急隊員部会	24	5/26 奈良市、6/24 大阪市 12/7 枚方市、3/2 神戸市
第35回西播磨救急医療研究会	10	9/8 姫路市
第14回姫路市救急医療フォーラム	7	9/3 姫路市
第32回全国救急隊員シンポジウム	4	2/1・2 名古屋市

(3) 研修会発表

演者	演題名	研修名	日付・場所
松田 善博	クイズで学ぶ、救急車の適正利用	第14回姫路市救急医療フォーラム	9/3 姫路市
白水 俊輔	脳卒中の救急搬送の実態とはり姫での取り組み	第35回西播磨救急医療研究会	9/8 姫路市
白水 俊輔	救急隊が脳卒中傷病者を適切に観察する教育的取り組み	第32回全国救急隊員シンポジウム	2/1 名古屋市
奥見 和昌	人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者への救急隊基本的活動プロトコルについて	第52回在宅医療勉強会	2/21 姫路市

5 事後検証委員会実施状況

(1) 検証委員会の開催状況 【検証対象期間: 令和4年12月1日～令和5年9月30日】

(姫路市消防局)

	開催日	検証対象期間
令和5年度 第1回	令和5年4月25日	R4.12. 1 ～ R5. 1.31
令和5年度 第2回	令和5年6月27日	R5. 2. 1 ～ R5. 3.31
令和5年度 第3回	令和5年8月25日	R5. 4. 1 ～ R5. 5.30
令和5年度 第4回	令和5年10月31日	R5. 6. 1 ～ R5. 7.31
令和5年度 第5回	令和5年12月19日	R5. 8. 1 ～ R5. 9.30
令和5年度 第6回	中止	—

(2) 検証結果 【検証対象期間: 令和4年12月1日～令和5年9月30日】

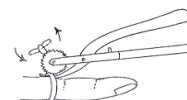
姫路市消防局	合計	割合	内 訳						
			CPA	重症	ブドウ糖	ショック	クラッシュ	その他	エピペン
全症例数	595	100.0%	459	13	70	46	1	3	3
推奨(事例研究)	8	1.3%	6	1	—	0	1	—	—
標準	575	96.6%	443	12	70	45	—	2	3
署等で確認	6	1.0%	6	—	—	—	—	—	—
要改善	1	0.2%	0	—	—	—	—	1	—
稀・参考症例	5	0.8%	4	—	—	1	—	—	—

6 家島町における救急発生状況

年	出動状況			患者搬送船				ヘリ搬送	救急車引継ぎ
	家島	坊勢	小計	救急艇	坊勢渡船	輝観光	小計		
令和4年	294	105	399	289	16	11	316	13	316
令和5年	264	122	334	271	7	5	283	13	283
前年比	▲ 30	17	▲ 65	▲ 18	▲ 9	-6	▲ 33	0	▲ 33

7 指輪切断(リングカッター)使用状況

	合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		90代以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本部	—	6		1				1		2		1		1							
姫路東	4	7			1			1	2	1		3		1		1	1				
姫路西	1	4				1	1			2				1							
飾磨	1	6				1			2		1		3								
網干	1	8		1		1			2	1	1		1			2					
中播	1	6		1			1	2						2		1					
合計	45		3		4		10		10		8		5		4		1		0		



8 PA出動件数

令和5年中のPA出動(飾東出張所及び大的出張所管内)の出動件数は120件でした。救急隊の出場現着平均時間は10分02秒、ポンプ隊の出場現着平均時間は3分52秒、救急隊とポンプ隊の差の平均時間は6分12秒でした。

	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
谷内校区	10	4	1	2	17
大塩校区	25	12	18	2	57
的形校区	32	1	11	2	46
合計	67	17	30	6	120

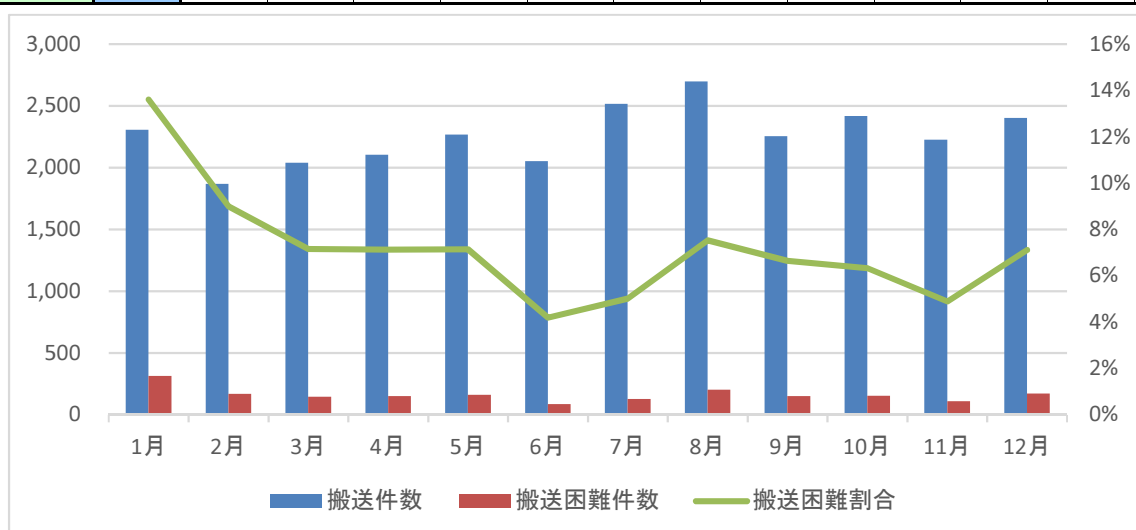
9 サンクスカード交付件数

令和5年中のサンクスカード交付件数は1件でした。

10 月別搬送困難件数

1月、8月、12月に搬送困難が増加しています。なお、令和5年中の兵庫県の搬送困難率は4.1%でした。

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
搬送件数	27,145	2,307	1,868	2,038	2,103	2,267	2,052	2,515	2,698	2,255	2,416	2,225	2,401
搬送困難件数	1,938	314	168	146	150	162	86	126	203	150	153	109	171
搬送困難割合	7.1%	13.6%	9.0%	7.2%	7.1%	7.1%	4.2%	5.0%	7.5%	6.7%	6.3%	4.9%	7.1%



救急業務沿革

昭和

- 25. 10 姫路消防署救急業務開始
- 38. 4 消防法の一部改正により救急業務が法制化される。
4 飾磨消防署救急業務を開始（延2隊）
- 39. 2 救急業務を実施しなければならない市町村が告示される。（全国105市）
3 「救急業務実施基準」示される。
4 消防法に基づく救急業務発足
- 43. 4 網干消防署救急業務を開始（延3隊）
- 44. 4 姫路消防署飾西出張所救急業務を開始（延4隊）
- 45. 6 姫路消防署御国野出張所救急業務を開始（延5隊）
- 46. 3 飾磨消防署白浜出張所救急業務を開始（延6隊）
- 48. 1 消防大学校第5期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
9 姫路消防署城東救急分遣隊救急業務を開始（延7隊）
- 50. 4 「夜間救急対策費運営要綱」を制定、夜間救急患者の受け入れに協力した医療機関に対する謝礼金制度を確立
7 飾磨消防署広畑出張所救急業務を開始（延8隊）
- 51. 1 国道2号線姫路バイパス開通に伴い、「消防救急業務の運用計画」を制定、有料自動車道における事故等の対策を決定
4 消防相互応援協定の見直しを図り、一部隣接市町に対する救急業務の応援出場を削除し、業務の適正化を図る。
4 「救急業務に協力した医師に対する報償金支給要綱」を制定、救急現場への医師確保のための謝金制度を確立
8 積極的に救急業務に従事した模範救急隊員に対し、姫路東ロータリークラブから感謝状が贈呈される。（毎年継続中）
9 隊員の健康管理のため特別検診を実施（毎年継続中）
12 「救急業務に関する規程」を制定、業務の一元化を図る。
- 52. 3 「大規模救助救急業務計画」を制定、多数負傷者発生時の対策を決定
- 53. 7 「救急隊員の行う応急処置等の基準」を告示される。これに伴い救急隊員の応急処置等が義務化される。
7 同上基準の告示に伴い「救急業務に関する規程」の一部改正を行い、傷病者に対する応急処置等を規定化
11 消防法施行令の一部改正により、救急隊員の資格要件明確となる。
- 54. 5 消防大学校第14期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
- 55. 1 救急事務電算化のための準備作業開始
7 アメリカ、カナダ救急事務システム等視察調査団に参加
9 救急隊員確保のため法的特例措置に基づく補充講習を実施し、有資格隊員65名を確保
10 業務開始30年、累計出場件数87,301件を記録
11 「救急業務に関する規程」の全部改正、「同事務処理要綱」を制定し、救急技術の向上と業務の一元化効率を図る。

- 56. 1 救急業務の電算化開始
 - 3 姫路消防署城東救急分遣所廃止
 - 4 消防大学校第19期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
 - 4 救急隊員確保のため法的特例措置に基づく補充講習を実施し、有資格隊員56名を確保
 - 6 「消防署の組織に関する規程」の一部改正に伴い署に救急係を新設
 - 6 姫路西消防署救急業務を開始（延8隊）

 - 57. 6 累計出場100,000件を記録
 - 8 脳外科輪番群受入体制確立
 - 9 救急の日、救急医療週間が制定される。
 - 10 休日緊急救護所後送病院制度確立

 - 58. 4 県救急医療情報システムによる救急管制業務開始

 - 61. 1 消防大学校第29期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
 - 4 休日緊急救護所を廃止し、夜間急病センターに併設され休日夜間急病センターとなる。
 - 4 消防法及び消防組織法の一部が改正され、これにより救急業務の対象及び応急手当が明確化される。（S62. 1. 1から施行）
 - 7 休日夜間急病センターに耳鼻科、眼科が併設される。（日曜、祝日（振替日含む）及び年末年始）

 - 62. 2 「救急病院等を定める省令」の一部改正される。（S62. 1. 12 厚生省令第2号）
 - 12 姫路市医師会医療情報システム運用開始
 - 12 休日歯科診療所開設される。

 - 63. 4 救急救助係が新設される。
 - 4 救急隊員の感染防止対策が図られる。
 - 12 新CPR実施要領が定められる。
- 平成
- 元. 10 姫路赤十字病院が脳外科輪番群に入る。
 - 12 (株)民間救急サービス（患者輸送サービス）営業開始

 - 2. 1 消防大学校第37期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
 - 11 姫路東消防署豊富出張所救急業務を開始（延9隊）

 - 3. 4 消防課救急係新設
 - 4 「救急救命士法」公布される。（H3年8月15日施行）
 - 8 「救急救命士法施行令」公布される。
 - 8 「救急救命士法施行規則」制定される。
 - 8 「救急隊員の行う応急処置等の基準」の一部改正される。
 - 8 「消防学校の教育の基準」の一部改正される。
 - 8 「救急振興財団」設立される。
 - 9 救急救命士受験資格者教育を開始（救急救命中央研修所）
 - 12 救急Ⅱ課程教育開始（兵庫県消防学校）

 - 4. 3 海外研修（アメリカのパラメディック制度及び市民指導方法）
 - 6 救急救命士誕生（1人）

4. 9 応急処置拡大に伴う改正のため救急事務電算化の準備作業開始
- 11 救急Ⅱ課程者病院実習開始
- 12 救急Ⅱ課程対応救急車施行運用開始
5. 1 救急Ⅱ課程対応救急車運用開始
- 1 救急事務新電算化開始（応急処置拡大に伴う改正）
- 3 応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱制定される。
- 4 姫路市救急指導医の嘱託制の開始
- 4 救急救命士卒後病院実習開始
- 5 救急救命士資格取得（2人）
- 9 救急車医師同乗現場研修開始
6. 1 高規格救急車運用開始（姫路東消防署に配置）
救急救命士特定行為開始
- 2 県立循環器病センター 特定行為の指示開始
- 2 心電図伝送開始（4台）
- 3 救急振興財団応急手当指導員講習（1人）
- 4 整形外科輪番群受入体制確立
- 5 救急救命士資格取得（3人）
- 6 高規格救急車を飾磨消防署に配置（2台目）
- 11 救急救命士資格取得（1人）
- 12 姫路赤十字病院 特定行為の指示開始
7. 2 姫路市応急手当の普及啓発活動に関する要綱制定
- 3 応急手当指導員資格者の養成（35人）
- 4 救急救命士有資格者採用（1人）
- 4 救急救命士九州研修所開所
- 5 救急救命士資格取得（3人）
- 6 国立姫路病院 特定行為の指示開始
- 11 救急救命士資格取得（1人）（計12人）
- 11 高規格救急車を姫路西消防署に配置（3台目）
8. 3 高規格救急車を網干消防署に配置（4台目）
- 3 応急手当指導員資格者の養成（64人）
- 5 救急救命士資格取得（3人）（計15人）
8. 8 ツカザキ記念病院 特定行為の指示開始
- 11 救急救命士資格取得（2人）（計17人）
9. 3 高規格救急車を飾磨消防署広畑分署に配置（5台目）
- 3 応急手当指導員資格者（81人）
- 5 救急救命士資格取得（2人）（計19人）
- 11 救急救命士資格取得（2人）（計21人）
- 12 高規格救急車を姫路東消防署御国野出張所に配置（6台目）
10. 3 高規格救急車を姫路西消防署飾西出張所に配置（7台目）

- 10. 5 救急救命士資格取得（2人）（計23人）
- 10 ツカザキ記念病院 月～金曜日（夜間） 特定行為の指示開始
- 11 救急救命士資格取得（3人）（計26人）
- 12 高規格救急車を飾磨消防署白浜分署、姫路東消防署豊富出張所署に配置（9台目）
- 12 救急車の呼称名称の固定化
- 11. 3 高規格救急車を更新し姫路東消防署に配置
- 5 救急救命士資格取得（3人）（計29人）
- 11 救急救命士資格取得（3人）（計32人）
- 12. 3 高規格救急車を更新し飾磨消防署に配置
- 4 女性救急隊員の乗務開始
- 5 救急救命士資格取得（5人）（計37人）
- 新日鐵広畑病院 特定行為指示開始（火・木・土 夜間）
- 10 姫路市消防局救急業務開始50周年
- 11 救急救命士資格取得（3人）（計40人）
- 13. 1 応急手当指導員資格者の養成（計409人）
- 3 応急手当普及員の養成開始（24人）
- 5 救急救命士資格取得（3人）（計43人）
- 11 消防隊による救急支援出動（PA出動）の試行開始
- 11 救急救命士資格取得（2人）（計45人）
- 12 高規格救急車を更新し姫路西消防署、網干消防署に配置
- 14. 2 応急手当普及員の養成（30人）（計54人）
- 5 救急救命士資格取得（1人）（計46人）
- 5 応急手当普及支援員の導入
- 9 上級救命講習会の開始
- 11 消防隊による救急支援出動（PA出動）の本格運用
- 11 救急救命士資格取得（2人）（計48人）
- 12 応急手当普及員の養成（25人）（計79人）
- 15. 2 応急手当普及員の養成（14人）（計93人）
- 2 高規格救急車を更新し飾磨消防署広畑分署に配置
- 3 第一回 中・西播磨地域メディカルコントロール協議会開催
- 4 包括的指示下における除細動及び事後検証の開始
- 5 第一回 中・西播磨地域検証委員会開催
- 5 救急救命士資格取得（3人）（計51人）
- 10 女性救急救命士資格取得（1人）（計52人）
- 12 消防団員応急手当指導員資格取得（115人）
- 16. 2 応急手当普及員の養成（17人）（計110人）
- 2 高規格救急車を更新し姫路東消防署御国野出張所に配置
- 5 救急救命士資格取得（2人）（計54人）
- 7 救急救命士による気管挿管開始（2人）
- 8 救急隊員によるAED使用開始

- 17. 2 応急手当普及員の養成（17人）（計127人）
 - 2 高規格救急車を更新し姫路西消防署飾西出張所に配置
 - 4 救急救命士有資格者採用（1人）
 - 5 救急救命士資格取得（3人）（計57人）
- 18. 2 高規格救急車を更新し姫路東消防署、白浜分署に配置
 - 4 救急救命士有資格者採用(1人)
 - 救急救命士(認定)による薬剤(アドレナリン)投与開始
 - 5 救急救命士資格取得(3人)
 - 12 救急件数が20年ぶりに減少(対前年比)
 - 救急隊員の心肺蘇生法要領の改正に基づく新プロトコールによる救急活動開始
- 19. 4 近隣北部3町の消防事務を受託し県下最大の管轄面積
 - 4 救急隊15隊で運用(3隊増隊・本部・林田・香寺)
 - 4 安富町の消防事務開始(委託終了)
 - 4 救急講習支援員1人配置
 - 4 救急救命士有資格者採用(1人)
 - 5 救急救命士資格取得(5人)
 - 12 救急医療体制検討会開催(全3回)
- 20. 3 高規格救急車を更新し姫路西消防署、飾磨消防署、姫路東消防署豊富出張所に配置
 - 4 第25回全国菓子大博覧会・兵庫(姫路菓子博2008)救急警備
 - 4 救急講習支援員増員(1人)
 - 5 救急救命士資格取得(4人)
 - 5 救急医療のあり方を検討する会議の開催(全6回)
 - 7 「傷病者受入照会マニュアル」運用開始
- 21. 5 救急救命士資格取得(3人)
 - 8 脳卒中プロトコール追加による新プロトコール策定
 - 10 消防法改正「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」
 - 12 高規格救急車を更新し、飾磨消防署広畑分署、姫路東消防署御国野出張所に配置
- 22. 2 高規格救急車を更新し、中播消防署に配置
 - 2 「脳卒中プロトコール」運用開始に伴う医師による研修会開催(2回)
 - 4 救急救命士有資格者採用(1人)
 - 12 救急出場件数が過去最高の24,291件を記録
- 23. 2 高規格救急車を更新し、姫路東消防署、中播消防署北部出張所に配置
 - 4 家島・坊勢両出張所に軽救急車を配置し、離島での救急業務を開始
 - 5 救急救命士資格取得(6人)（計114人）
- 24. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署飾西出張所に配置
 - 5 救急救命士資格取得(3人)（計117人）
 - 9 救急救命技術競技会の開催
 - 11 救急活動プロトコール一部改訂

- 25. 3 製鉄記念広畑病院 姫路救命救急センター開業
- 5 救急救命士資格取得(4人)(計120人)
- 7 PA出動範囲拡大
- 7 救命講習修了証デザイン変更
- 11 高規格救急車を更新し、香寺出張所、林田出張所に配置
- 11 兵庫県ドクターヘリ運行開始

- 26. 1 救急救命士(認定)によるビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管開始
- 3 姫路救命救急センタードクターカー運行開始
- 5 救急救命士資格取得(4人)(計127人)
- 5 第140回近畿救急医学会救急隊員部会を姫路で開催
- 11 高規格救急車を更新し、飾磨消防署に配置
- 11 救急活動プロトコル一部改訂 (H25年以降 名称をプロトコルに変更)

- 27. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署、網干消防署に配置し、以降の更新車両はすべて4WDとすることとした。
- 2 第1回世界遺産姫路城マラソン開催に伴う警備実施
- 4 救急救命士資格取得(4人)(計131人)
- 11 地域メディカルコントロール協議会による拡大2行為追加講習実施
- 11 派遣型救急ワークステーション試行的運用開始(姫路聖マリア病院)

- 28. 1 リユース型救急感染防止衣使用開始
- 1 処置拡大(心停止前輸液、低血糖へのブドウ糖溶液投与)開始
- 2 高規格救急車を更新し、姫路東消防署、豊富出張所、北部出張所に配置
- 4 救急資器材管理供給システム(SPD)運用開始
- 4 派遣型救急ワークステーション本格運用開始(姫路聖マリア病院)
- 5 Web上での救急受診ガイド運用開始
- 5 市民による高規格救急車の寄贈(御国野出張所に配置)
- 5 救急救命士資格取得(3人)(計131人)
- 9 バイスタンダーサポートのためのThanksカード運用開始
- 11 地域メディカルコントロール協議会による拡大2行為追加講習実施

- 29. 5 救急救命士資格取得(3人)(計132人)
- 9 eラーニング受講者対象救命講習実施開始
- 11 高規格救急車を更新し、広畑分署、夢前出張所に配置
- 12 派遣型救急ワークステーションの実施病院の拡充(製鉄記念広畑病院)

- 30. 1 転院搬送隊の運用開始
- 4 救急救命士有資格者採用 (5人)
- 5 救急救命士資格取得 (3人)(計142人)
- 8 救急体制のあり方検討会開催(計3回)
- 9 救急車の適正利用動画配信開始
- 11 増位救急隊の試行的運用を開始

31. 1 高規格救急車を更新し、本部、飾西出張所に配置
4 消防局に救急課を設置
4 家島の救急艇を新造、運用開始
- 令和
元. 5 救急救命士資格取得(4人)(計142人)
9 医療機関と合同でプレホスピタル連携訓練を実施
11 救急搬送支援システムの試験運用を開始
2. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署、白浜分署に配置
1 国内で新型コロナウイルス感染者が発生
2～ 新型コロナウイルス感染防止対策を図る
4 救急救命士有資格者採用(3人)
5 救急救命士資格取得(6人)(計141人)
7 高規格救急車の寄贈を受け、姫路東消防署に配置
12 アイソレーターを購入し増位出張所に配置
3. 1 救急搬送支援システムの試験運用終了
2 高規格救急車を更新し、網干消防署、香寺出張所に配置
3 高規格救急車(感染症対策車両)を更新し、増位出張所に配置
5 救急救命士資格取得(6人)(計145人)
5 高規格救急車の寄贈(2台目)を受け、豊富出張所に配置
9 新型コロナ第5波により搬送困難事例急増
10 播磨姫路救急搬送システム(HEARTS)本格運用開始
4. 1 軽救急車を更新し、家島出張所、坊勢出張所に配置
2 高規格救急車を更新し、飾磨消防署、中播消防署に配置
2 新型コロナ第6波により感染者の搬送が急増
4 救急救命士資格者採用(4人)
5 救急救命士資格取得(6人)(計146人)
派遣型救急ワークステーションの実施病院の拡充(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)
7 高規格救急車の寄贈(3台目)を受け、林田出張所に配置
8 新型コロナ第7波により救急件数及び搬送困難事例が急増
ひっ迫する救急需要に対し非常用救急車を活用し臨時救急隊を運用
10 マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた実証実験に参加
12 新型コロナ第8波により救急件数及び搬送困難事例が急増
第170回近畿救急医学会救急隊員部会を姫路で開催
5. 1 高規格救急車を更新し、御国野出張所、夢前出張所に配置
4 救急救命士資格者採用(3人)
5 救急救命士資格取得(6人)(計151人)
7 第49回兵庫県下救急担当者会議を姫路で開催
8 ひっ迫する救急需要に対し非常用救急車を活用し臨時救急隊を運用
月間の救急出場件数が過去最高数(3,371件)を記録
12 年間の救急出場件数が過去最高数(34,342件)を記録